平成 27 年度

「市民による市政評価」

結果報告書

平成 27 年 11 月

大仙市 企画部 総合政策課

目　次

1 調査概要 ・・ 4

1.1 調査の目的

1.2 調査の対象、手法、期間

1.3 調査の内容 ・・ 5

1.4 実施結果（回収率）

2 調査結果 ・・・ 8

2.1 満足度および重要度の分析

2.1.1 満足の度合い

2.1.2 満足度における選択肢別の回答割合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

2.1.3 重要の度合い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

2.1.4 重要度における選択肢別の回答割合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

2.1.5 満足度および重要度の属性別比較 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

2.1.6 項目別要望度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

2.1.7 散布図 ・・ 25

2.1.8 満足度および重要度の総括 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

2.2 さらに推進すべき取り組み分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

2.2.1 健康福祉分野に関する設問について

2.2.2 教育分野に関する設問について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

2.2.3 産業分野に関する設問について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

2.2.4 都市基盤分野に関する設問について ····· 38

2.2.5 環境・安全分野に関する設問について ····· 41

2.2.6 地域情報・交流・行政運営分野に関する設問について ·· 44

2.2.7 さらに推進すべき取り組みの総括 ····· 47

2.3 5 年間の経年比較····· 49

2.4 自由記述の類型化 ····· 61

資料 平成 27 年度市民による市政評価調査票 ····· 82

1 調査概要

1.1 調査の目的

市の施策に対する市民の意見を調査・分析し、その結果を施策に反映させていくことで、効果的かつ効率的な市政運営に結び付けるとともに、調査報告を通して多くの市民に市の施策を周知し、市政運営に対する理解と市民との協働のまちづくりに向けた意識醸成を図ることを目的とする。

1.2 調査の対象、手法、期間

(1) 対象

18 歳以上の市民の中から無作為に抽出した 1,000 人（性別、年齢、地域については考慮）に、希望者５人（広報だいせん５月号にて募集）を加えた計 1,005 人

(2) 手法

郵送アンケート（無記名回答）方式

(3) 期間

平成 27 年５月 22 日（金）～６月５日（金）

1.3 調査の内容

本調査では、大仙市総合計画に示している体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、それぞれ「満足度」と「重要度」及び今後さらに推進すべき取り組みについて調査した。

◆**「満足度」**…大仙市の現状にどのくらい満足しているか。

◆**「重要度」**…大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。

1.4 実施結果（回収率）

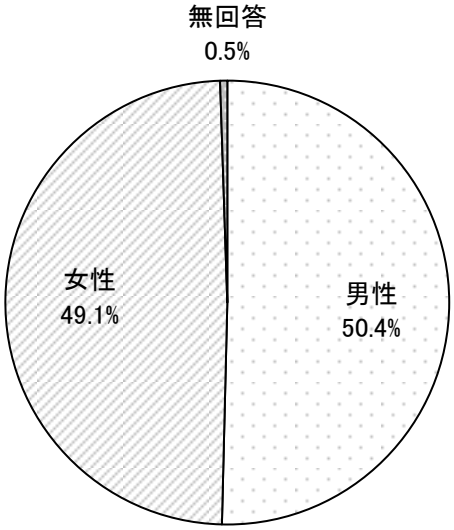
回収数・・・・・387 人

回収率・・・・・38.5%

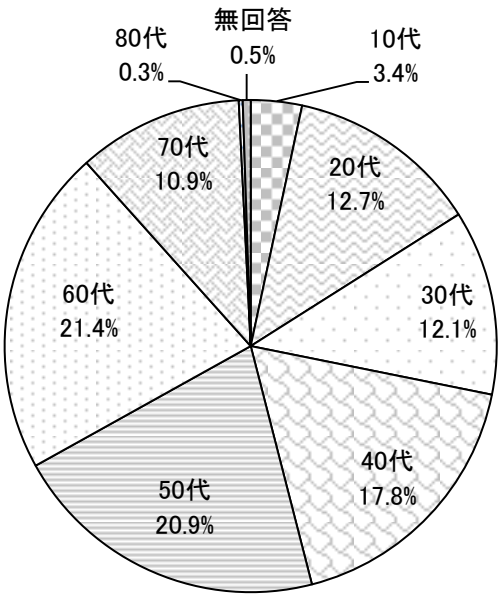
過去5年間の実施結果（回収率）

年度	対象人数	回収数	回収率
平成23年度	1,005	430	42.8%
平成24年度	1,005	429	42.7%
平成25年度	1,002	413	41.2%
平成26年度	1,002	408	40.7%
平成27年度	1,005	387	38.5%

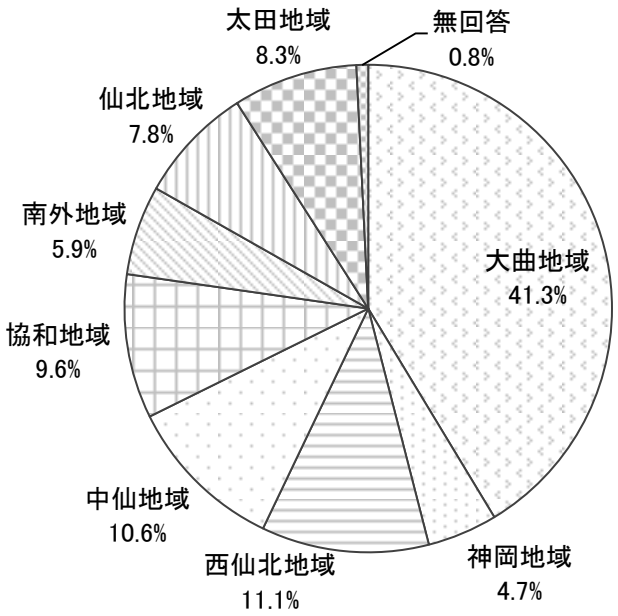
図表 1　回答者の性別の内訳



図表 2　回答者の年齢の内訳



図表 3　回答者の居住地域の内訳



2 調査結果

2.1 満足度および重要度の分析

2.1.1 満足の度合い

満足度の高い項目は昨年度同様「自然保護」が 3.60（昨年度：3.46）、「学校教育」が 3.56（昨年度：3.41）、「衛生環境」が 3.47（昨年度：3.35）となっている。

一方、満足度の低い項目は昨年度同様「就業支援」が 2.56（昨年度：2.41）、「観光振興」が 2.66（昨年度：2.64）、「産業振興」が 2.71（昨年度：2.69）となっている。

昨年度と比較すると、全体的な動きは小さいものの「全項目」において上昇が見られる。

図表４　満足度（点数順）

順位			項　目	満足度　※1			
H26	H27			H27		H26	増減（H27−H26）
1	1		（自然保護） 緑豊かな自然環境の保全について	↗	3.60	3.46	0.14
2	2		（学校教育） 学習意欲と能力を養う学校教育について	↑	3.56	3.41	0.15
3	3		（衛生環境） 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	↗	3.47	3.35	0.12
4	4		（上・下水道） 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	↗	3.37	3.30	0.07
5	5		（生涯学習） 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	↑	3.34	3.18	0.16
6	6		（保健・医療） 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	↑	3.32	3.15	0.17
7	7		（スポーツ・レクリエーション） スポーツ・レクリエーションを通した豊かな生活の実現について	↗	3.23	3.13	0.10
8	8		（住環境） 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↗	3.23	3.11	0.12
11	9	↑	（芸術・文化） 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	↑	3.21	3.04	0.17
9	10	↓	（子育て支援） 安心して子育てができる社会環境について	↗	3.21	3.11	0.10
14	11	↑	（安全・安心体制） 消防・防災体制や雪対策の強化について	↑	3.20	2.96	0.24
10	12	↓	（交通インフラ） 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	↗	3.17	3.06	0.11
12	13	↓	（社会福祉） 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	↗	3.11	3.02	0.09
13	14	↓	（地域福祉） 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	↗	3.08	3.01	0.07
16	15	↑	（参画・交流） 大仙市を訪れる人が魅力に感じる、温かみのある地域づくりについて	→	2.96	2.92	0.04
15	16	↓	（協働） 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	→	2.94	2.93	0.01
17	17		（地域活性化） 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	→	2.94	2.92	0.02
18	18		（市街地形成） 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	→	2.87	2.83	0.04
20	19	↑	（公共交通） 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↗	2.82	2.76	0.06
19	20	↓	（行財政運営） 市の行財政運営の効率化について	→	2.80	2.78	0.02
21	21		（産業創出・支援） 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	↗	2.75	2.70	0.05
22	22		（産業振興） 農林業、商工業を中心とした産業振興について	→	2.71	2.69	0.02
23	23		（観光振興） 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	→	2.66	2.64	0.02
24	24		（就業支援） 就業希望者に対するさまざまな支援について	↑	2.56	2.41	0.15

※1）満足度の矢印の説明

上昇　↑　前年比+0.15 以上

やや上昇　↗　前年比+0.05 以上+0.15 未満

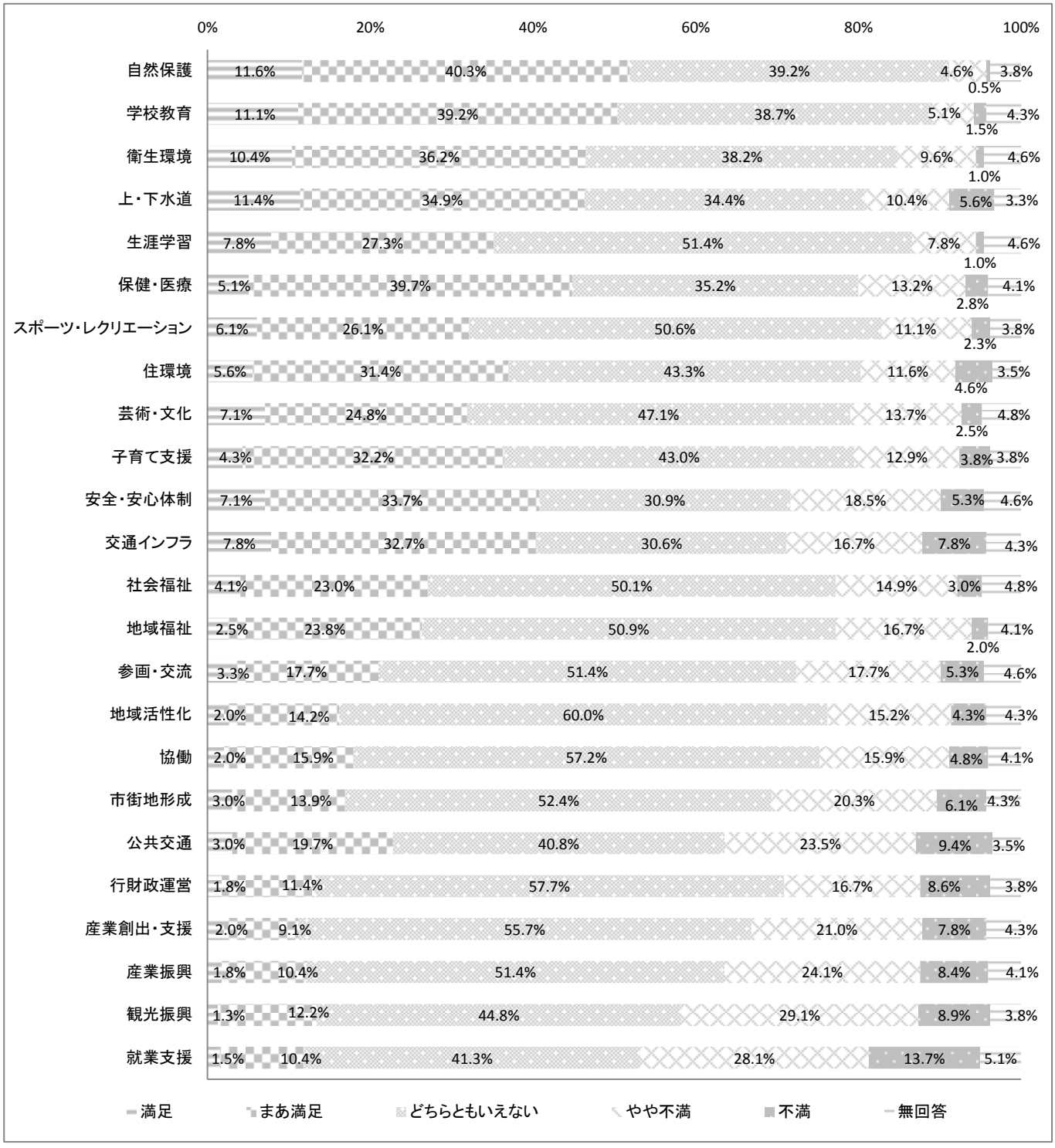
横ばい　→　前年比−0.05 より大きく+0.05 未満

やや下降　↘　前年比−0.05 以下−0.15 未満

下降　↓　前年比−0.15 以下

2.1.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表 5　満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.1.3 重要の度合い

重要度の高い項目は、「子育て支援」が 4.40（昨年度：4.35）、「就業支援」が 4.40（昨年度：4.38）、「安全・安心体制」が 4.40（昨年度：4.37）となっている。

一方、重要度の低い項目は「芸術・文化」が 3.56（昨年度：3.54）、「スポーツ・レクリエーション」が 3.61（昨年度：3.54）、「市街地形成」が 3.62（昨年度：3.53）となっている。

昨年度と比較すると、全体的な動きは小さいものの上昇傾向が見られる。

図表 6　重要度（点数順）

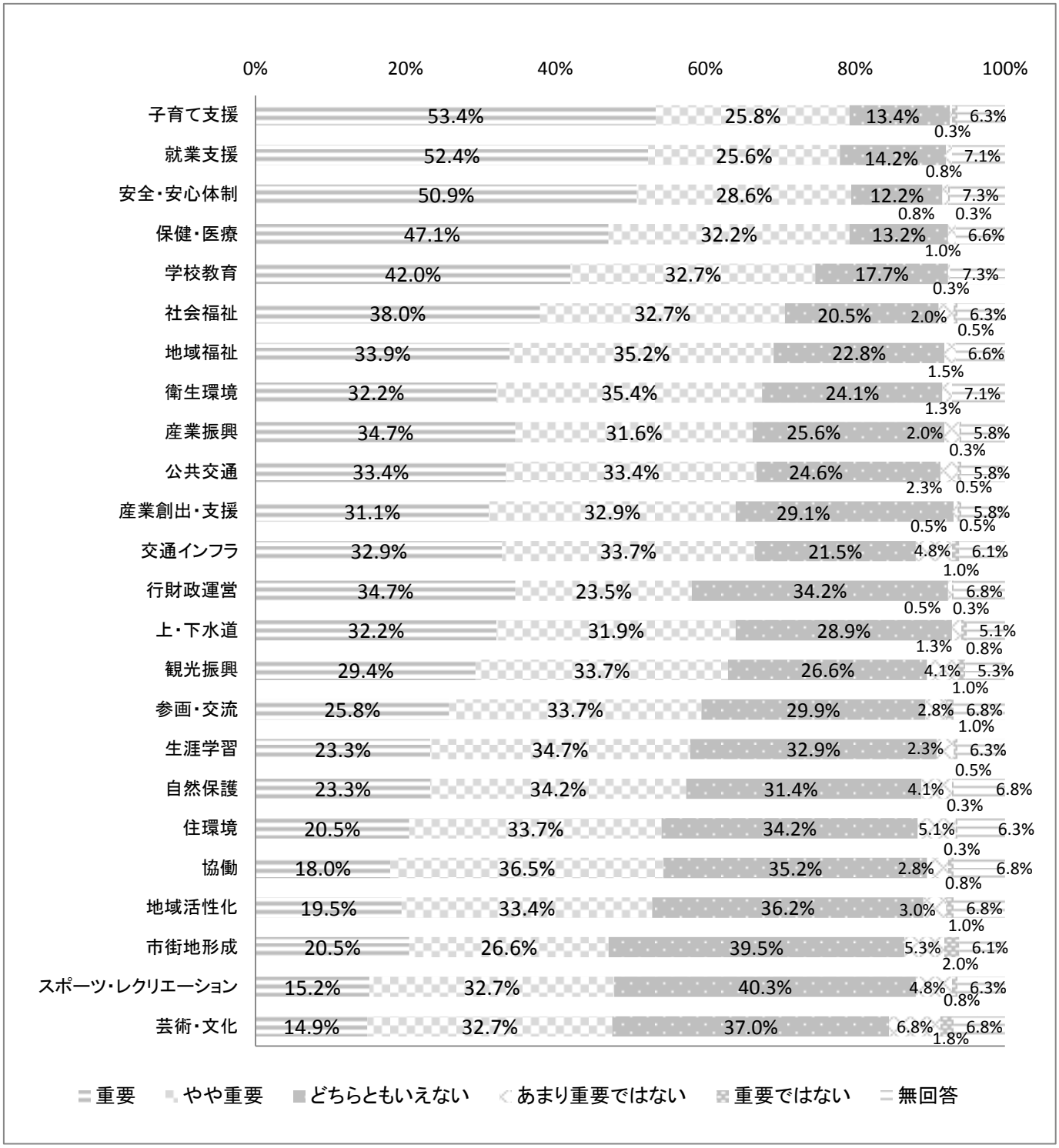
順位			項　目	重要度　※1			
H26	H27			H27		H26	増減（H27−H26）
3	1	↑	（子育て支援） 安心して子育てができる社会環境について	↗	4.40	4.35	0.05
1	2	↓	（就業支援） 就業希望者に対するさまざまな支援について	→	4.40	4.38	0.02
2	3	↓	（安全・安心体制） 消防・防災体制や雪対策の強化について	→	4.40	4.37	0.03
4	4		（保健・医療） 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	↗	4.34	4.30	0.04
5	5		（学校教育） 学習意欲と能力を養う学校教育について	↗	4.26	4.18	0.08
6	6		（社会福祉） 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	→	4.13	4.16	▲ 0.03
13	7	↑	（地域福祉） 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	↑	4.09	3.94	0.15
7	8	↓	（衛生環境） 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	→	4.06	4.07	▲ 0.01
8	9	↓	（産業振興） 農林業、商工業を中心とした産業振興について	→	4.05	4.01	0.04
9	10	↓	（公共交通） 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↗	4.03	3.98	0.05
15	11	↑	（産業創出・支援） 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	↗	3.99	3.89	0.10
11	12	↓	（交通インフラ） 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	→	3.99	3.95	0.04
10	12	↓	（行財政運営） 市の行財政運営の効率化について	→	3.99	3.95	0.04
12	14	↓	（上・下水道） 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	→	3.98	3.94	0.04
14	15	↓	（観光振興） 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	→	3.91	3.91	0.00
16	16		（参画・交流） 大仙市を訪れる人が魅力に感じる、温かみのある地域づくりについて	→	3.86	3.85	0.01
18	17	↑	（生涯学習） 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	↗	3.83	3.78	0.05
17	18	↓	（自然保護） 緑豊かな自然環境の保全について	→	3.82	3.83	▲ 0.01
21	19	↑	（住環境） 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↗	3.74	3.64	0.10
19	20	↓	（協働） 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	→	3.73	3.74	▲ 0.01
20	21	↓	（地域活性化） 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	↗	3.72	3.64	0.08
24	22	↑	（市街地形成） 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	↗	3.62	3.53	0.09
22	23	↓	（スポーツ・レクリエーション） スポーツ・レクリエーションを通した豊かな生活の実現について	↗	3.61	3.54	0.07
22	24	↓	（芸術・文化） 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	→	3.56	3.54	0.02

※1）重要度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15 以上
やや上昇	↗	前年比+0.05 以上+0.15 未満
横ばい	→	前年比−0.05 より大きく+0.05 未満
やや下降	↘	前年比−0.05 以下−0.15 未満
下降	↓	前年比−0.15 以下

2.1.4 重要度における選択肢別の回答割合

図表 7　重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.1.5 満足度および重要度の属性別比較

図表 8　性別による満足度・重要度

■男性

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.54
2	学校教育	3.51
3	衛生環境	3.44
4	上・下水道	3.36
5	保健・医療	3.29

（下位）

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.75
21	観光振興	2.69
22	産業振興	2.67
23	産業創出・支援	2.66
24	就業支援	2.55

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	4.42
2	子育て支援	4.40
3	就業支援	4.38
4	保健・医療	4.30
5	学校教育	4.23

（下位）

順位	項目	満足度
20	生涯学習	3.71
	住環境	3.71
22	市街地形成	3.67
23	スポーツ・レクリエーション	3.59
24	芸術・文化	3.45

■女性

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.68
2	学校教育	3.61
3	衛生環境	3.52
4	生涯学習	3.42
5	上・下水道	3.38

（下位）

順位	項目	満足度
20	産業創出・支援	2.84
21	公共交通	2.80
22	産業振興	2.77
23	観光振興	2.64
24	就業支援	2.56

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	就業支援	4.41
2	子育て支援	4.40
3	保健・医療	4.39
4	安全・安心体制	4.38
5	学校教育	4.28

（下位）

順位	項目	満足度
20	協働	3.74
21	地域活性化	3.71
22	芸術・文化	3.69
23	スポーツ・レクリエーション	3.60
24	市街地形成	3.58

図表 9　年代別による満足度・重要度

■10代

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	4.23
2	住環境	3.85
3	スポーツ・レクリエーション	3.77
4	社会福祉	3.69
	学校教育	3.69
	上・下水道	3.69

（下位）

順位	項目	満足度
20	協働	3.08
21	就業支援	3.00
	参画・交流	3.00
23	行財政運営	2.92
24	観光振興	2.69

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	地域福祉	4.77
2	学校教育	4.69
3	安全・安心体制	4.62
4	保健・医療	4.54
	子育て支援	4.54

（下位）

順位	項目	満足度
20	上・下水道	4.00
	協働	4.00
22	スポーツ・レクリエーション	3.92
23	芸術・文化	3.85
24	市街地形成	3.54

■20代

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.69
2	学校教育	3.51
	衛生環境	3.51
4	上・下水道	3.45
5	保健・医療	3.29

（下位）

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.76
	行財政運営	2.76
22	産業創出・支援	2.75
23	観光振興	2.69
24	就業支援	2.47

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	4.60
2	子育て支援	4.57
3	就業支援	4.50
4	保健・医療	4.36
5	社会福祉	4.30

（下位）

順位	項目	満足度
19	産業振興	3.94
	生涯学習	3.94
21	スポーツ・レクリエーション	3.81
22	協働	3.80
23	市街地形成	3.79
24	芸術・文化	3.63

■30代

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.61
2	学校教育	3.54
3	上・下水道	3.33
4	衛生環境	3.30
5	生涯学習	3.24

（下位）

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.63
21	産業創出・支援	2.59
22	観光振興	2.57
23	産業振興	2.52
24	就業支援	2.46

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	子育て支援	4.63
2	就業支援	4.46
3	安全・安心体制	4.39
4	保健・医療	4.36
5	学校教育	4.33

（下位）

順位	項目	満足度
20	協働	3.91
21	市街地形成	3.85
22	地域活性化	3.83
23	芸術・文化	3.74
24	スポーツ・レクリエーション	3.73

■40代

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.65
2	学校教育	3.54
3	衛生環境	3.47
4	保健・医療	3.41
5	子育て支援	3.37

（下位）

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.84
21	産業創出・支援	2.69
22	産業振興	2.66
23	観光振興	2.57
24	就業支援	2.47

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	就業支援	4.42
	安全・安心体制	4.42
3	子育て支援	4.34
4	保健・医療	4.31
5	学校教育	4.22

（下位）

順位	項目	満足度
20	地域活性化	3.60
21	スポーツ・レクリエーション	3.57
	住環境	3.57
	市街地形成	3.57
24	芸術・文化	3.45

■50代

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.56
2	学校教育	3.52
3	衛生環境	3.48
4	生涯学習	3.39
5	住環境	3.33

（下位）

順位	項目	満足度
20	産業振興	2.75
21	公共交通	2.74
22	産業創出・支援	2.73
23	観光振興	2.71
24	就業支援	2.50

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	就業支援	4.43
2	子育て支援	4.41
3	安全・安心体制	4.35
4	保健・医療	4.28
5	産業振興	4.14

（下位）

順位	項目	満足度
20	地域活性化	3.64
21	住環境	3.58
22	芸術・文化	3.54
23	スポーツ・レクリエーション	3.50
24	市街地形成	3.47

■60代

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.62
2	衛生環境	3.57
3	自然保護	3.56
4	上・下水道	3.50
5	安全・安心体制	3.46

（下位）

順位	項目	満足度
20	産業創出・支援	2.74
21	行財政運営	2.73
22	就業支援	2.67
23	観光振興	2.66
24	産業振興	2.59

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	保健・医療	4.46
2	学校教育	4.34
3	子育て支援	4.33
4	安全・安心体制	4.32
5	就業支援	4.23

（下位）

順位	項目	満足度
20	地域活性化	3.61
	市街地形成	3.61
22	住環境	3.56
23	スポーツ・レクリエーション	3.49
24	芸術・文化	3.44

■70代

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	生涯学習	3.58
2	学校教育	3.55
3	スポーツ・レクリエーション	3.50
	衛生環境	3.50
5	上・下水道	3.48

（下位）

順位	項目	満足度
20	産業創出・支援	2.87
21	産業振興	2.85
22	観光振興	2.82
23	公共交通	2.80
24	就業支援	2.69

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	4.33
2	就業支援	4.29
3	学校教育	4.26
4	保健・医療	4.19
5	地域福祉	4.16

（下位）

順位	項目	満足度
20	参画・交流	3.72
21	芸術・文化	3.69
22	自然保護	3.68
23	市街地形成	3.55
24	スポーツ・レクリエーション	3.49

※80代以上については、回答者が1名とサンプル数が少ないため、年代別の図表から割愛しました。

図表 10　地域別による満足度・重要度

■大曲地域

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.58
2	学校教育	3.56
3	衛生環境	3.53
4	保健・医療	3.38
5	上・下水道	3.36

（下位）

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.80
21	産業創出・支援	2.64
22	産業振興	2.63
23	観光振興	2.59
24	就業支援	2.50

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	4.47
2	子育て支援	4.41
3	保健・医療	4.39
	就業支援	4.39
5	学校教育	4.29

（下位）

順位	項目	満足度
20	生涯学習	3.76
21	協働	3.75
22	地域活性化	3.74
23	スポーツ・レクリエーション	3.53
24	芸術・文化	3.49

■神岡地域

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	交通インフラ	3.83
2	上・下水道	3.78
3	衛生環境	3.71
4	自然保護	3.59
	住環境	3.59
	安全・安心体制	3.59

（下位）

順位	項目	満足度
20	観光振興	2.89
21	協働	2.88
22	産業創出・支援	2.83
	就業支援	2.83
24	公共交通	2.78

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	交通インフラ	4.59
2	子育て支援	4.50
	就業支援	4.50
4	安全・安心体制	4.44
5	行財政運営	4.41

（下位）

順位	項目	満足度
20	市街地形成	3.94
	地域活性化	3.94
22	住環境	3.88
23	芸術・文化	3.50
	スポーツ・レクリエーション	3.50

■西仙北地域

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.65
2	上・下水道	3.55
3	学校教育	3.50
	衛生環境	3.50
5	保健・医療	3.48
	生涯学習	3.48

（下位）

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.88
21	産業振興	2.85
22	市街地形成	2.83
23	観光振興	2.81
24	就業支援	2.69

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	就業支援	4.43
2	安全・安心体制	4.34
3	保健・医療	4.32
4	子育て支援	4.29
5	学校教育	4.25

（下位）

順位	項目	満足度
20	芸術・文化	3.73
	地域活性化	3.73
22	住環境	3.68
23	スポーツ・レクリエーション	3.60
24	市街地形成	3.50

■中仙地域

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.51
	衛生環境	3.51
3	学校教育	3.45
4	生涯学習	3.44
5	スポーツ・レクリエーション	3.38

（下位）

順位	項目	満足度
20	観光振興	2.84
21	産業創出・支援	2.82
22	産業振興	2.63
23	行財政運営	2.62
24	就業支援	2.56

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	子育て支援	4.48
2	就業支援	4.44
	安全・安心体制	4.44
4	保健・医療	4.41
5	地域福祉	4.38

（下位）

順位	項目	満足度
20	協働	3.71
21	観光振興	3.69
	住環境	3.69
23	地域活性化	3.59
24	市街地形成	3.36

■協和地域

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.78
2	学校教育	3.77
3	上・下水道	3.58
4	衛生環境	3.54
5	生涯学習	3.32

（下位）

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.58
21	産業振興	2.57
22	観光振興	2.42
	公共交通	2.42
24	就業支援	2.40

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	保健・医療	4.47
	子育て支援	4.47
	安全・安心体制	4.47
4	就業支援	4.36
5	地域福祉	4.35

（下位）

順位	項目	満足度
20	参画・交流	3.88
	協働	3.88
22	芸術・文化	3.71
23	スポーツ・レクリエーション	3.66
24	市街地形成	3.60

■南外地域

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.64
2	保健・医療	3.55
3	学校教育	3.45
4	住環境	3.36
	衛生環境	3.36

（下位）

順位	項目	満足度
20	就業支援	2.76
21	観光振興	2.74
	公共交通	2.74
23	交通インフラ	2.73
24	市街地形成	2.64

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	就業支援	4.30
	安全・安心体制	4.30
3	保健・医療	4.25
4	子育て支援	4.14
5	交通インフラ	4.09

（下位）

順位	項目	満足度
19	生涯学習	3.67
	自然保護	3.67
21	産業振興	3.65
22	住環境	3.57
23	スポーツ・レクリエーション	3.33
24	芸術・文化	3.05

■仙北地域

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.66
2	自然保護	3.45
3	生涯学習	3.31
	衛生環境	3.31
	安全・安心体制	3.31

（下位）

順位	項目	満足度
20	観光振興	2.79
21	産業振興	2.76
	産業創出・支援	2.76
23	公共交通	2.66
24	就業支援	2.59

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	子育て支援	4.43
2	就業支援	4.34
3	保健・医療	4.32
4	学校教育	4.21
5	安全・安心体制	4.19

（下位）

順位	項目	満足度
20	自然保護	3.63
21	市街地形成	3.48
	住環境	3.48
23	協働	3.46
24	地域活性化	3.39

■太田地域

【満足度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.77
2	学校教育	3.52
3	住環境	3.38
4	安全・安心体制	3.37
5	生涯学習	3.35

（下位）

順位	項目	満足度
20	産業振興	2.87
	市街地形成	2.87
	参画・交流	2.87
23	観光振興	2.63
24	就業支援	2.58

【重要度】

（上位）

順位	項目	満足度
1	就業支援	4.45
2	子育て支援	4.37
3	学校教育	4.31
4	安全・安心体制	4.21
5	保健・医療	4.00
	社会福祉	4.00

（下位）

順位	項目	満足度
20	協働	3.57
21	芸術・文化	3.55
22	自然保護	3.47
23	住環境	3.42
24	市街地形成	3.14

2.1.6 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、「就業支援」が 1.84（昨年度：1.96）、「産業振興」が 1.33（昨年度：1.41）、「観光振興」が 1.25（昨年度：1.33）となっている。

要望度が低い項目は、「自然保護」が 0.22（昨年度：0.37）、「芸術・文化」が 0.35（昨年度：0.41）、「スポーツ・レクリエーション」が 0.37（昨年度：0.50）となっている。

昨年度と比較するとほとんどの項目が下降しているが、「地域福祉」、「行財政運営」に上昇が見られる。

図表 11　項目別要望度　（重要度－満足度）　（点数順）

順位			項　目	要望度　※1			
H26	H27			H27		H26	増減（H27−H26）
1	1		（就業支援） 就業希望者に対するさまざまな支援について	↘	1.84	1.96	▲ 0.12
3	2	↑	（産業振興） 農林業、商工業を中心とした産業振興について	↘	1.33	1.41	▲ 0.08
4	3	↑	（観光振興） 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	↘	1.25	1.33	▲ 0.08
7	4	↑	（産業創出・支援） 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	→	1.24	1.27	▲ 0.03
6	5	↑	（公共交通） 長寿社会に対応した公共交通の確保について	→	1.20	1.24	▲ 0.04
2	6	↓	（安全・安心体制） 消防・防災体制や雪対策の強化について	→	1.20	1.21	▲ 0.01
5	7	↓	（子育て支援） 安心して子育てができる社会環境について	→	1.19	1.19	▲ 0.00
8	8		（行財政運営） 市の行財政運営の効率化について	→	1.18	1.17	0.01
10	9	↑	（社会福祉） 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	↗	1.02	1.15	▲ 0.13
9	10	↓	（保健・医療） 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	↗	1.02	1.14	▲ 0.12
11	11		（地域福祉） 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	↗	1.00	0.93	0.07
12	12		（参画・交流） 大仙市を訪れる人が魅力に感じる、温かみのある地域づくりについて	→	0.91	0.93	▲ 0.02
13	13		（交通インフラ） 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	↘	0.82	0.89	▲ 0.07
14	14		（協働） 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	→	0.79	0.82	▲ 0.03
15	15		（地域活性化） 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	→	0.78	0.80	▲ 0.02
18	16	↑	（市街地形成） 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	→	0.75	0.77	▲ 0.02
16	17	↓	（学校教育） 学習意欲と能力を養う学校教育について	→	0.70	0.72	▲ 0.02
19	18	↑	（上・下水道） 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	↘	0.61	0.70	▲ 0.09
17	19	↓	（衛生環境） 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	↘	0.59	0.64	▲ 0.05
21	20	↑	（住環境） 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↘	0.51	0.60	▲ 0.09
20	21	↓	（生涯学習） 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	→	0.48	0.52	▲ 0.04
23	22	↑	（スポーツ・レクリエーション） スポーツ・レクリエーションを通した豊かな生活の実現について	↘	0.37	0.50	▲ 0.13
22	23	↓	（芸術・文化） 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	↘	0.35	0.41	▲ 0.06
24	24		（自然保護） 緑豊かな自然環境の保全について	↓	0.22	0.37	▲ 0.15

※1）要望度の矢印の説明

上昇　↑　前年比+0.15 以上

やや上昇　↗　前年比+0.05 以上+0.15 未満

横ばい　→　前年比-0.05 より大きく+0.05 未満

やや下降　↘　前年比-0.05 以下-0.15 未満

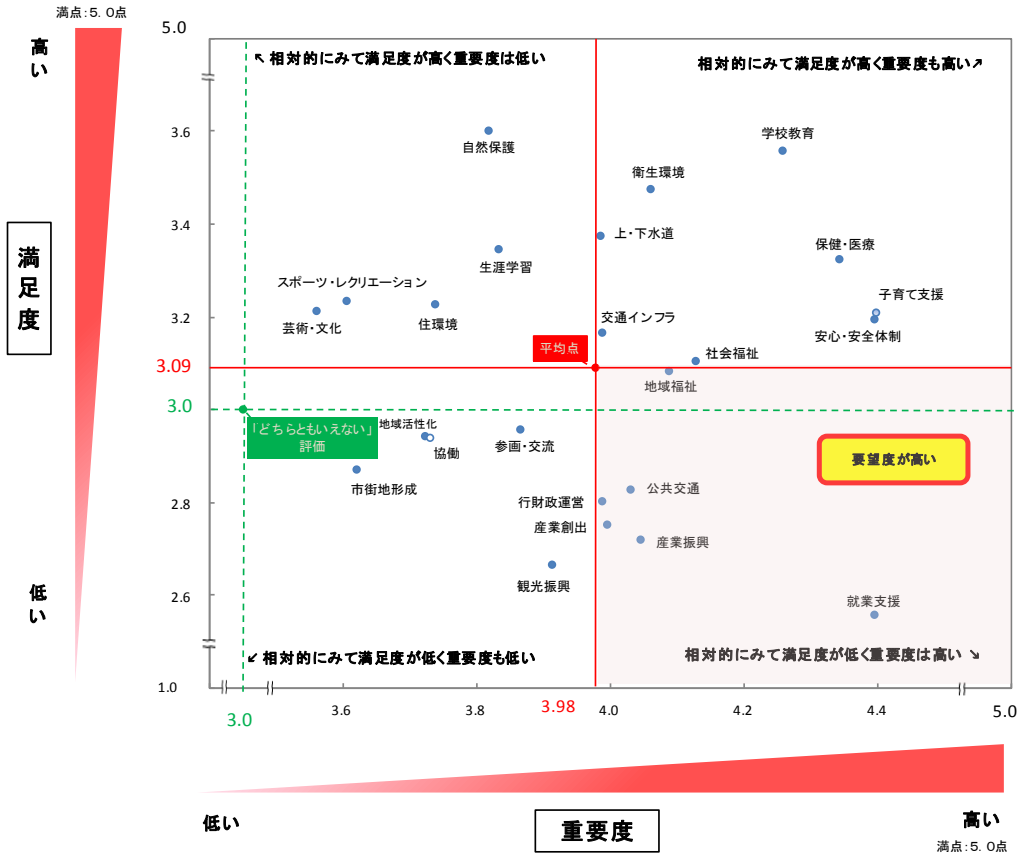
下降　↓　前年比-0.15 以下

2.1.7 散布図

図表 12 の散布図は、満足度を縦軸とし、重要度を横軸に 24 項目の位置を描いたものである。図の右上に位置するほど満足度が高く重要度も高い項目となり、逆に図の左下に位置するほど満足度が低く重要度も低い項目となりであることを意味している。

相対的にみて、要望度が高い施策（満足度は低いが重要度は高い）は、「就業支援」、「産業振興」、「公共交通」、「産業創出」、「行財政運営」、「地域福祉」となっている。

図表 12　満足度･重要度の項目別比較



2.1.8 満足度、重要度および要望度の総括

〈満足の度合い〉

満足度の高い項目は昨年度同様「自然保護」が 3.60（昨年度：3.46）、「学校教育」が 3.56（昨年度：3.41）、「衛生環境」が 3.47（昨年度：3.35）となっている。

一方、満足度の低い項目は昨年度同様「就業支援」が 2.56（昨年度：2.41）、「観光振興」が 2.66（昨年度：2.64）、「産業振興」が 2.71（昨年度：2.69）となっている。

昨年度と比較すると、全体的な動きは小さいものの「全項目」において上昇が見られる。

〈重要の度合い〉

重要度の高い項目は、「子育て支援」が 4.40（昨年度：4.35）、「就業支援」が 4.40（昨年度：4.38）、「安全・安心体制」が 4.40（昨年度：4.37）となっている。

一方、重要度の低い項目は「芸術・文化」が 3.56（昨年度：3.54）、「スポーツ・レクリエーション」が 3.61（昨年度：3.54）、「市街地形成」が 3.62（昨年度：3.53）となっている。

昨年度と比較すると、全体的な動きは小さいものの上昇傾向が見られる。

〈要望の度合い〉

要望度の高い項目は、「就業支援」が 1.84（昨年度：1.96）、「産業振興」が 1.33（昨年度：1.41）、「観光振興」が 1.25（昨年度：1.33）となっている。

要望度が低い項目は、「自然保護」が 0.22（昨年度：0.37）、「芸術・文化」が 0.35（昨年度：0.41）、「スポーツ・レクリエーション」が 0.37（昨年度：0.50）となっている。

昨年度と比較するとほとんどの項目が下降しているが、「地域福祉」、「行財政運営」に上昇が見られる。

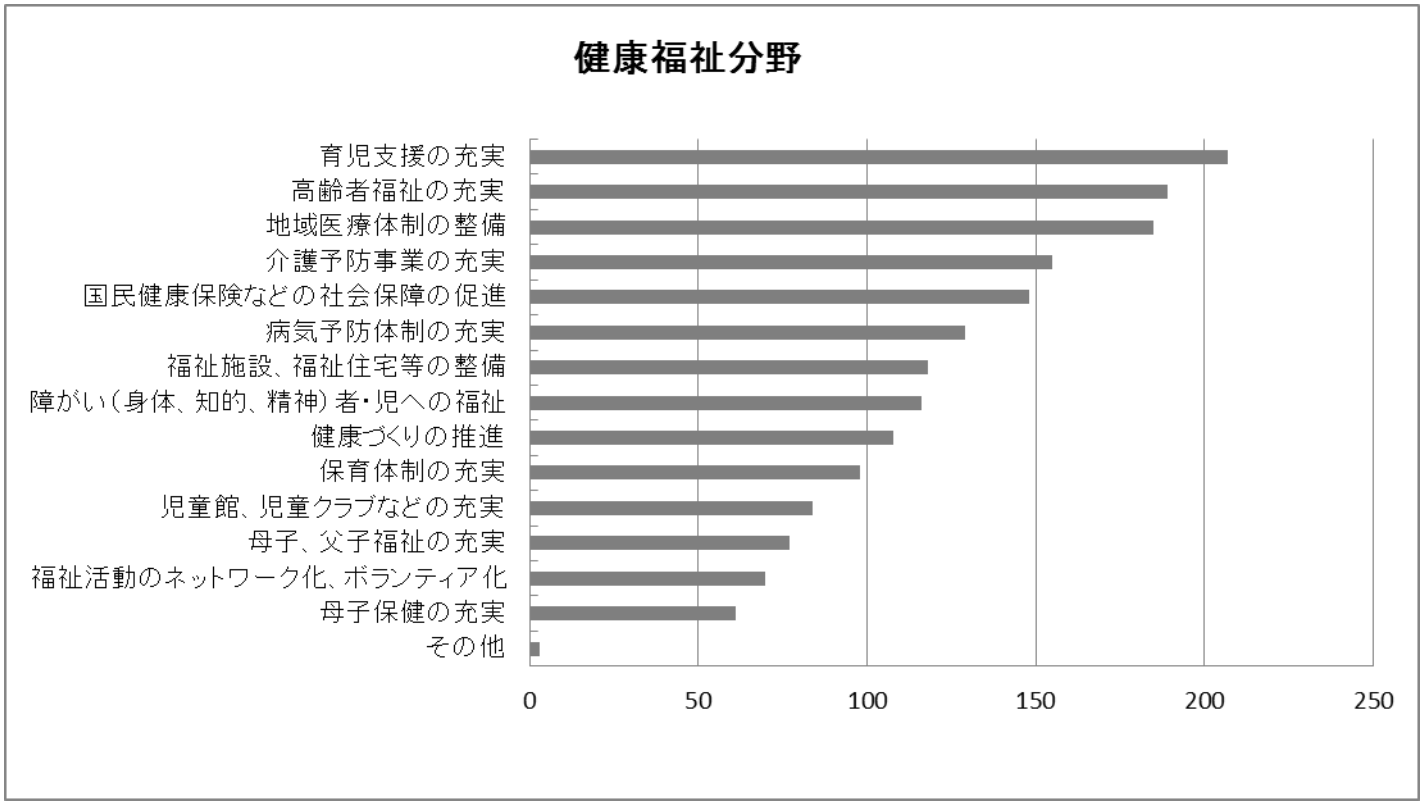
2.2 さらに推進すべき取り組み分析

2.2.1 健康福祉分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、昨年度同様「育児支援の充実」、「高齢者福祉の充実」、「地域医療体制の整備」となっている。

一方、下位は「母子保健の充実」、「福祉活動のネットワーク化、ボランティア化」、「母子、父子福祉の充実」となっている。

図表 13　さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 14　年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	11
2	健康づくりの推進	7
3	病気予防体制の充実	6
	母子、父子福祉の充実	6
5	地域医療体制の整備	5
	高齢者福祉の充実	5

■20代

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	38
2	地域医療体制の整備	23
3	高齢者福祉の充実	21
	福祉施設、福祉住宅等の整備	21
5	国民健康保険などの社会保障の促進	19

■30代

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	34
2	児童館、児童クラブなどの充実	21
3	地域医療体制の整備	20
	高齢者福祉の充実	20
5	国民健康保険などの社会保障の促進	16

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	42
2	高齢者福祉の充実	34
3	育児支援の充実	32
4	介護予防事業の充実	27
5	国民健康保険などの社会保障の促進	23

■50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	41
	育児支援の充実	41
3	介護予防事業の充実	38
4	高齢者福祉の充実	34
5	国民健康保険などの社会保障の促進	29

■60代

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	44
2	介護予防事業の充実	40
3	国民健康保険などの社会保障の促進	36
4	地域医療体制の整備	33
5	健康づくりの推進	32
	育児支援の充実	32

■70代

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	28
2	国民健康保険などの社会保障の促進	20
3	病気予防体制の充実	19
4	地域医療体制の整備	18
	健康づくりの推進	18
	育児支援の充実	18
	介護予防事業の充実	18

※80代以上については、回答者が1名とサンプル数が少ないため、年代別の図表から割愛しました。

図表 15　地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	82
2	育児支援の充実	80
3	地域医療体制の整備	77
4	介護予防事業の充実	67
5	国民健康保険などの社会保障の促進	57

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	10
	国民健康保険などの社会保障の促進	10
3	病気予防体制の充実	9
	高齢者福祉の充実	9
5	育児支援の充実	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	介護予防事業の充実	22
2	育児支援の充実	21
3	高齢者福祉の充実	19
4	健康づくりの推進	18
5	地域医療体制の整備	17
	国民健康保険などの社会保障の促進	17

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	23
2	地域医療体制の整備	20
3	病気予防体制の充実	16
4	児童館、児童クラブなどの充実	15
	介護予防事業の充実	15

■協和地域

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	24
2	高齢者福祉の充実	19
3	地域医療体制の整備	18
4	国民健康保険などの社会保障の促進	16
5	保育体制の充実	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	14
2	地域医療体制の整備	13
3	育児支援の充実	11
4	国民健康保険などの社会保障の促進	8
	福祉施設、福祉住宅等の整備	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	16
2	高齢者福祉の充実	15
3	地域医療体制の整備	14
4	介護予防事業の充実	12
5	国民健康保険などの社会保障の促進	10

■太田地域

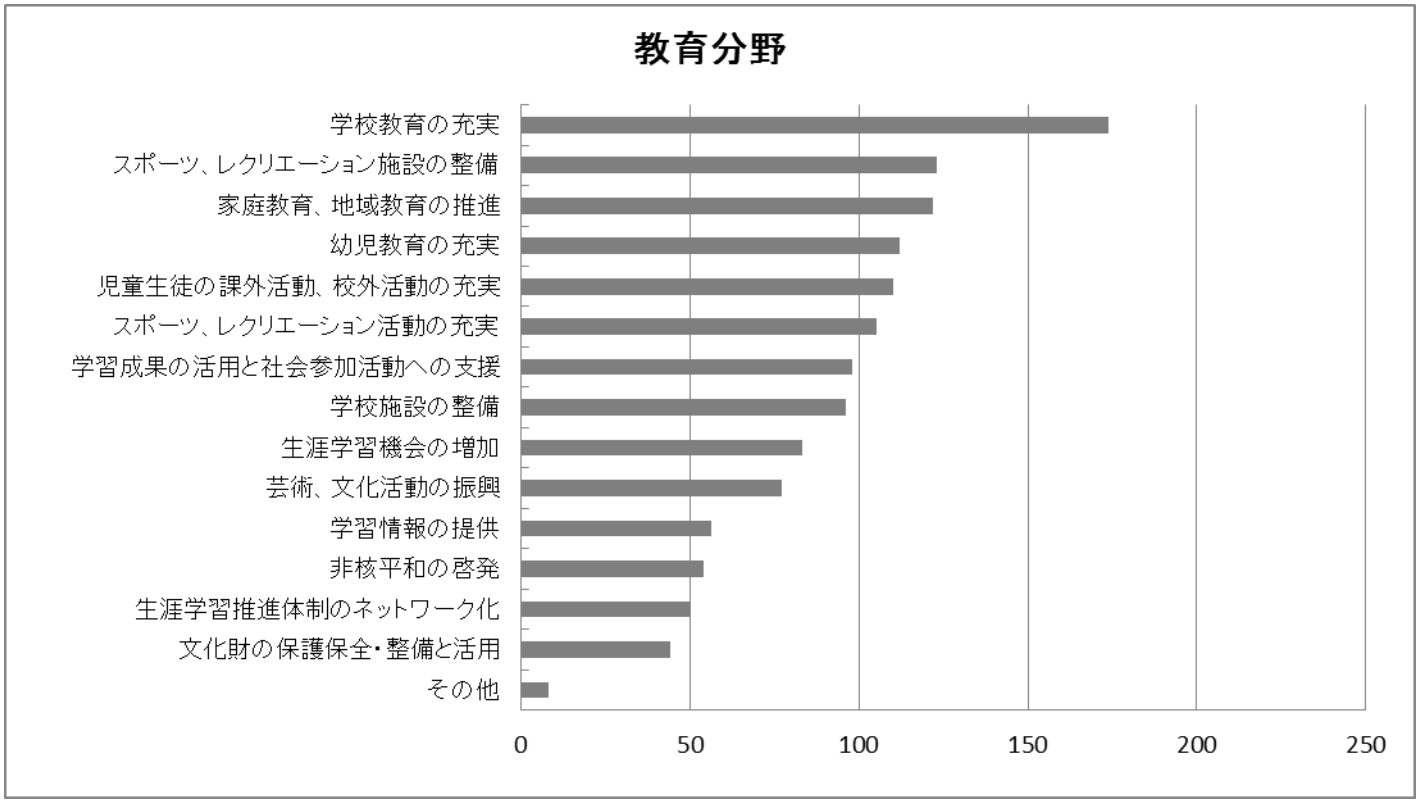
順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	22
2	高齢者福祉の充実	14
	国民健康保険などの社会保障の促進	14
4	地域医療体制の整備	13
	病気予防体制の充実	13

2.2.2 教育分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「学校教育の充実」、「スポーツ、レクリエーション施設の整備」、「家庭教育、地域教育の推進」となっている。

一方、下位は「文化財の保護保全・整備と活用」、「生涯学習推進体制とネットワーク化」、「非核平和の啓発」となっている。

図表 16　さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 17　年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	8
2	幼児教育の充実	5
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	5
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	5

■20代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	21
2	スポーツ、レクリエーション施設の整備	20
3	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	18
4	幼児教育の充実	17
5	家庭教育、地域教育の推進	15
	学校施設の整備	15
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	15

■30代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	21
2	スポーツ、レクリエーション施設の整備	17
3	学校施設の整備	16
4	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	14
5	幼児教育の充実	12
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	12

■40代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	35
2	スポーツ、レクリエーション施設の整備	29
3	スポーツ、レクリエーション活動の充実	21
4	家庭教育、地域教育の推進	19
5	幼児教育の充実	18
	学習成果の活用と社会参加活動への支援	18

■50代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	35
2	家庭教育、地域教育の推進	27
3	スポーツ、レクリエーション活動の充実	21
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	21
5	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	20

■60代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	35
2	幼児教育の充実	27
	家庭教育、地域教育の推進	27
4	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	25
5	学習成果の活用と社会参加活動への支援	24

■70代

順位	項目	回答数
1	家庭教育、地域教育の推進	20
2	学校教育の充実	17
3	非核平和の啓発	15
4	学習成果の活用と社会参加活動への支援	14
5	幼児教育の充実	13
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	13

※80代以上については、回答者が1名とサンプル数が少ないため、年代別の図表から割愛しました。

図表 18　地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	スポーツ、レクリエーション施設の整備	90
2	学校教育の充実	85
3	非核平和の啓発	77
4	生涯学習推進体制のネットワーク化	60
	文化財の保護保全・整備と活用	60

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	スポーツ、レクリエーション施設の整備	12
2	学校教育の充実	11
3	文化財の保護保全・整備と活用	9
4	家庭教育、地域教育の推進	8
	学習成果の活用と社会参加活動への支援	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	30
2	スポーツ、レクリエーション施設の整備	26
3	非核平和の啓発	20
4	生涯学習推進体制のネットワーク化	17
5	幼児教育の充実	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	27
2	スポーツ、レクリエーション施設の整備	20
3	家庭教育、地域教育の推進	17
4	非核平和の啓発	16
5	学校施設の整備	15

■協和地域

順位	項目	回答数
1	スポーツ、レクリエーション施設の整備	23
2	学校教育の充実	21
3	文化財の保護保全・整備と活用	16
	非核平和の啓発	16
5	生涯学習推進体制のネットワーク化	13
	学習情報の提供	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	11
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	11
3	学校施設の整備	10
4	文化財の保護保全・整備と活用	8
5	家庭教育、地域教育の推進	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	19
2	スポーツ、レクリエーション施設の整備	14
3	非核平和の啓発	12
4	幼児教育の充実	11
5	学習情報の提供	10

■太田地域

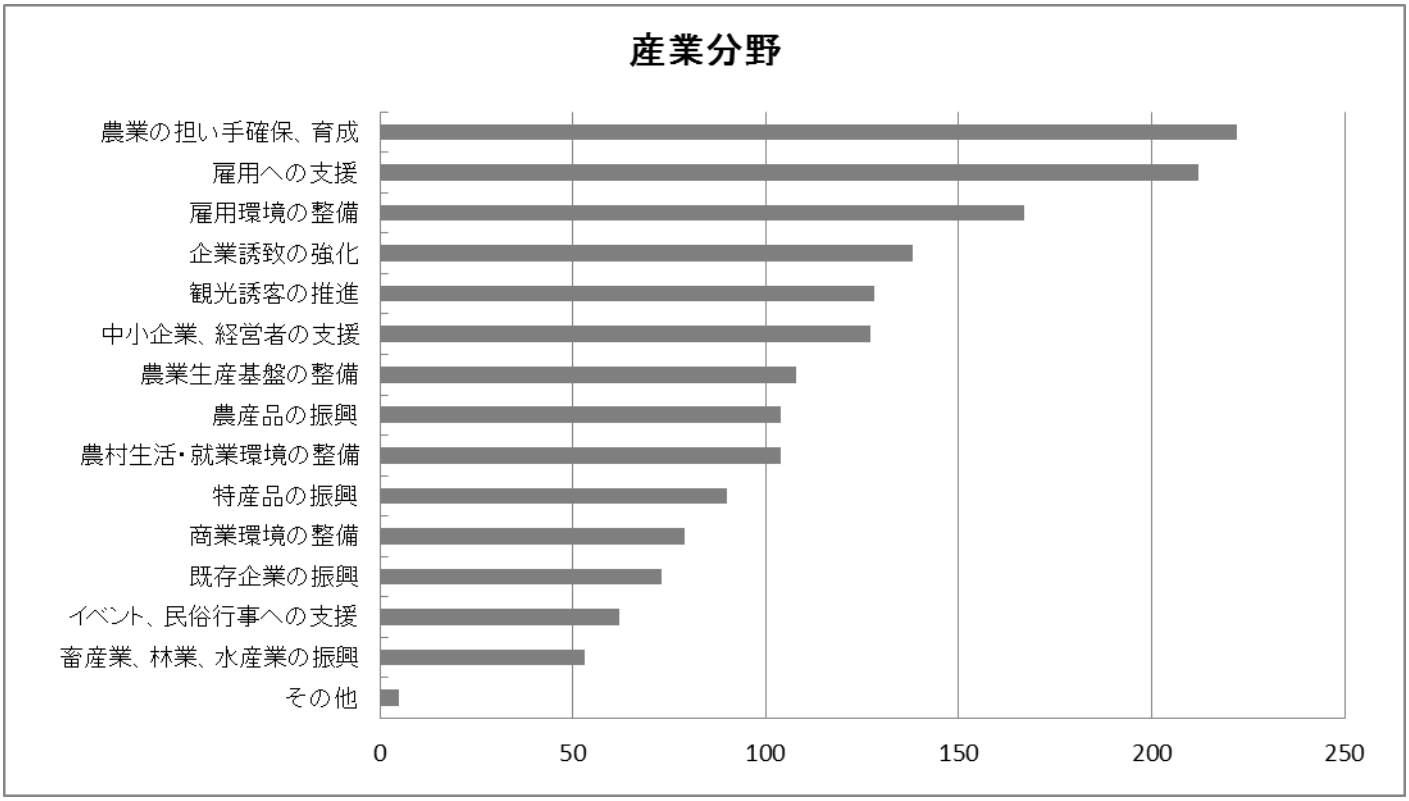
順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	15
2	スポーツ、レクリエーション施設の整備	14
3	学習情報の提供	13
4	非核平和の啓発	11
5	幼児教育の充実	10

2.2.3 産業分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、「農業の担い手確保、育成」、「雇用への支援」、「雇用環境の整備」となっている。

一方、下位については「畜産業、林業、水産業の振興」、「イベント、民俗行事への支援」、「既存企業の振興」となっている。

図表 19　さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 20　年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	8
2	農業の担い手確保、育成	7
3	観光誘客の推進	6
	雇用環境の整備	6
5	中小企業、経営者の支援	5

■20代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	33
2	農業の担い手確保、育成	27
3	雇用環境の整備	24
4	中小企業、経営者の支援	22
5	観光誘客の推進	21

■30代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	26
2	農業の担い手確保、育成	23
3	雇用環境の整備	20
4	観光誘客の推進	18
5	中小企業、経営者の支援	17

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	39
2	雇用環境の整備	34
3	雇用への支援	33
4	企業誘致の強化	30
5	中小企業、経営者の支援	22

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	48
2	農業の担い手確保、育成	44
3	雇用環境の整備	38
4	中小企業、経営者の支援	29
	企業誘致の強化	29

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	51
2	雇用への支援	41
3	企業誘致の強化	31
4	農産品の振興	26
	雇用環境の整備	26

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	28
2	雇用への支援	22
3	企業誘致の強化	18
	雇用環境の整備	18
5	農産品の振興	15
	観光誘客の推進	15

※80代以上については、回答者が1名とサンプル数が少ないため、年代別の図表から割愛しました。

図表 21　地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	90
2	農業の担い手確保、育成	85
3	雇用環境の整備	77
4	中小企業、経営者の支援	60
	観光誘客の推進	60

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	12
2	農業の担い手確保、育成	11
3	観光誘客の推進	9
4	農産品の振興	8
	商業環境の整備	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	30
2	雇用への支援	26
3	雇用環境の整備	20
4	中小企業、経営者の支援	17
5	農業生産基盤の整備	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	27
2	雇用への支援	20
3	農産品の振興	17
4	雇用環境の整備	16
5	農村生活・就業環境の整備	15

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	23
2	農業の担い手確保、育成	21
3	観光誘客の推進	16
	雇用環境の整備	16
5	中小企業、経営者の支援	13
	企業誘致の強化	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	11
	雇用への支援	11
3	農村生活・就業環境の整備	10
4	観光誘客の推進	8
5	農産品の振興	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	19
2	雇用への支援	14
3	雇用環境の整備	12
4	農業生産基盤の整備	11
5	企業誘致の強化	10

■太田地域

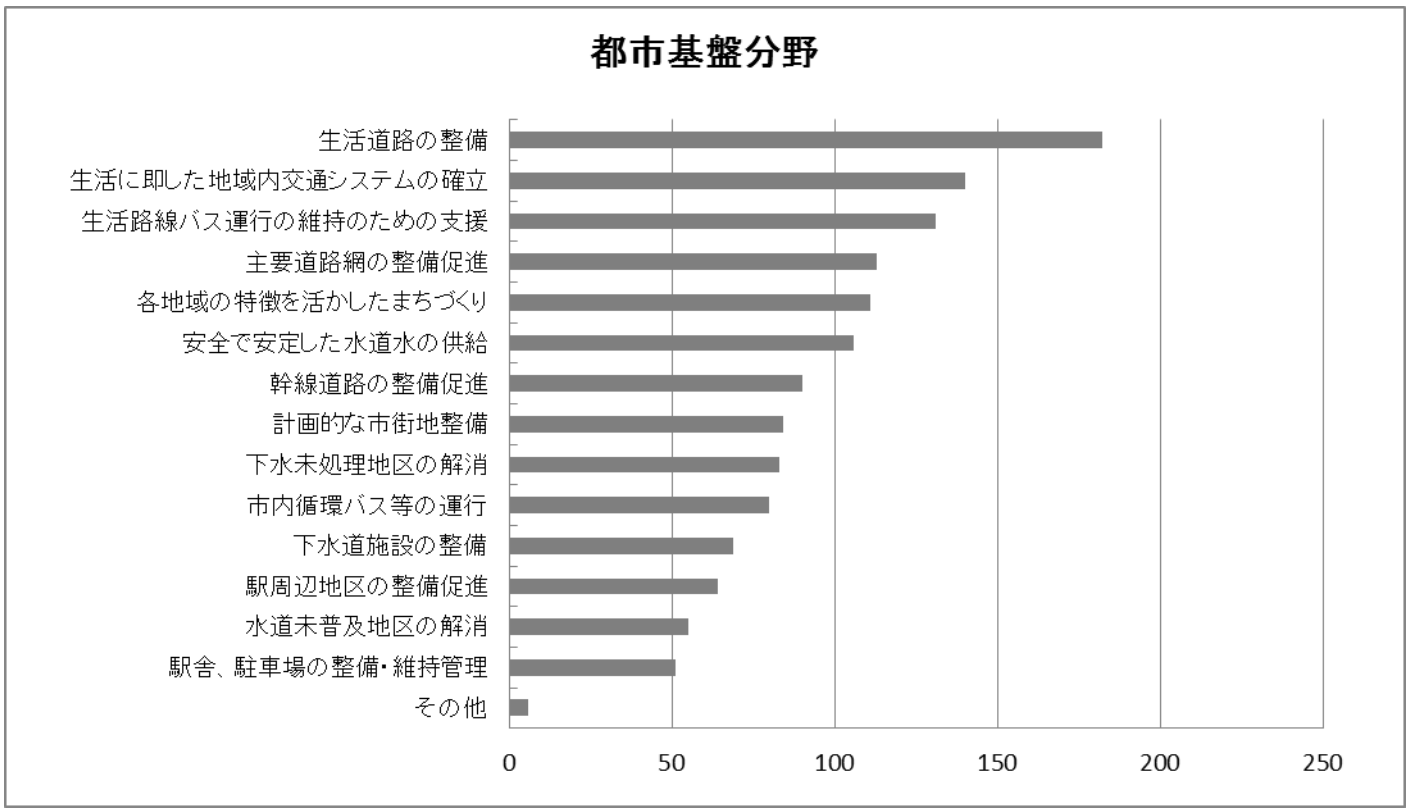
順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	15
2	雇用への支援	14
3	企業誘致の強化	13
4	雇用環境の整備	11
5	農業生産基盤の整備	10

2.2.4 都市基盤分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、「生活道路の整備」、「生活に即した地域内交通システムの確立」、「生活路線バス運行の維持のための支援」となっている。

一方、下位は「駅舎、駐車場の整備・維持管理」、「水道未普及地区の解消」、「駅周辺地区の整備促進」となっている。

図表 22　さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 23　年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	生活に即した地域内交通システムの確立	7
2	駅舎、駐車場の整備・維持管理	6
3	市内循環バス等の運行	5
	各地域の特徴を活かしたまちづくり	5
5	生活道路の整備	4
	安全で安定した水道水の供給	4

■20代

順位	項目	回答数
1	主要道路網の整備促進	27
	生活道路の整備	27
3	生活に即した地域内交通システムの確立	19
4	幹線道路の整備促進	16
	安全で安定した水道水の供給	16

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	25
2	主要道路網の整備促進	17
	計画的な市街地整備	17
4	各地域の特徴を活かしたまちづくり	15
5	幹線道路の整備促進	14
	生活路線バス運行の維持のための支援	14

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	31
2	生活に即した地域内交通システムの確立	28
3	生活路線バス運行の維持のための支援	21
	安全で安定した水道水の供給	21
5	幹線道路の整備促進	19

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	44
2	生活に即した地域内交通システムの確立	40
3	生活路線バス運行の維持のための支援	30
4	各地域の特徴を活かしたまちづくり	25
5	主要道路網の整備促進	19

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	34
2	生活路線バス運行の維持のための支援	31
3	生活に即した地域内交通システムの確立	25
	各地域の特徴を活かしたまちづくり	25
5	安全で安定した水道水の供給	24

■70代

順位	項目	回答数
1	生活路線バス運行の維持のための支援	20
2	各地域の特徴を活かしたまちづくり	19
3	市内循環バス等の運行	18
4	生活道路の整備	14
	安全で安定した水道水の供給	14

※80代以上については、回答者が1名とサンプル数が少ないため、年代別の図表から割愛しました。

図表 24　地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	76
2	生活路線バス運行の維持のための支援	62
3	生活に即した地域内交通システムの確立	56
4	安全で安定した水道水の供給	48
5	計画的な市街地整備	46

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	10
2	各地域の特徴を活かしたまちづくり	9
3	主要道路網の整備促進	7
	生活路線バス運行の維持のための支援	7
5	生活に即した地域内交通システムの確立	6

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活に即した地域内交通システムの確立	20
2	生活路線バス運行の維持のための支援	17
3	生活道路の整備	16
4	各地域の特徴を活かしたまちづくり	15
5	市内循環バス等の運行	14
	安全で安定した水道水の供給	14

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	21
2	主要道路網の整備促進	14
3	幹線道路の整備促進	13
4	各地域の特徴を活かしたまちづくり	12
5	生活に即した地域内交通システムの確立	11

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	22
2	主要道路網の整備促進	16
3	生活路線バス運行の維持のための支援	14
	生活に即した地域内交通システムの確立	14
5	幹線道路の整備促進	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	9
	生活に即した地域内交通システムの確立	9
3	各地域の特徴を活かしたまちづくり	8
	安全で安定した水道水の供給	8
	下水未処理地区の解消	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活に即した地域内交通システムの確立	16
2	生活道路の整備	12
3	生活路線バス運行の維持のための支援	10
	各地域の特徴を活かしたまちづくり	10
5	市内循環バス等の運行	7
	計画的な市街地整備	7
	安全で安定した水道水の供給	7

■太田地域

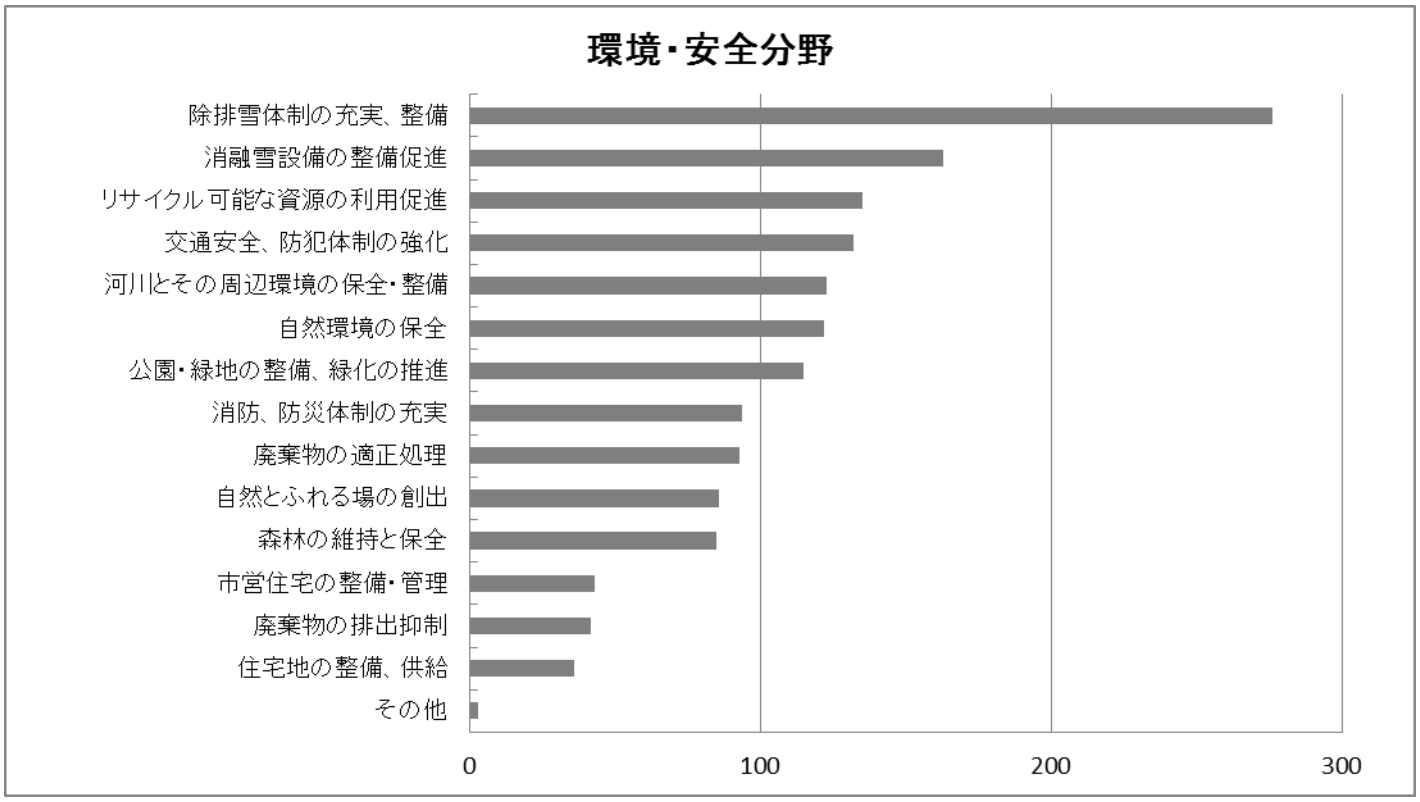
順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	13
2	主要道路網の整備促進	10
3	幹線道路の整備促進	9
	各地域の特徴を活かしたまちづくり	9
5	生活路線バス運行の維持のための支援	6
	生活に即した地域内交通システムの確立	6
	安全で安定した水道水の供給	6

2.2.5 環境・安全分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「除排雪体制の充実、整備」、「消融雪施設の整備促進」、「リサイクル可能な資源の利用促進」となっている。

一方、下位については「住宅地の整備、供給」、「廃棄物の排出抑制」、「市営住宅の整備・管理」となっている。

図表 25　さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26　年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	9
2	リサイクル可能な資源の利用促進	7
3	自然環境の保全	5
4	自然とふれる場の創出	4
	河川とその周辺環境の保全・整備	4
	公園・緑地の整備、緑化の推進	4
	廃棄物の適正処理	4
	交通安全、防犯体制の強化	4

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	39
2	消融雪設備の整備促進	27
3	交通安全、防犯体制の強化	21
4	消防、防災体制の充実	20
5	自然環境の保全	18

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	31
2	消融雪設備の整備促進	22
3	公園・緑地の整備、緑化の推進	21
4	河川とその周辺環境の保全・整備	15
5	交通安全、防犯体制の強化	14

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	50
2	消融雪設備の整備促進	31
3	リサイクル可能な資源の利用促進	26
4	交通安全、防犯体制の強化	24
5	公園・緑地の整備、緑化の推進	22

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	60
2	リサイクル可能な資源の利用促進	33
3	消融雪設備の整備促進	32
4	交通安全、防犯体制の強化	30
5	自然環境の保全	23

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	55
2	消融雪設備の整備促進	34
3	自然環境の保全	28
4	河川とその周辺環境の保全・整備	27
	交通安全、防犯体制の強化	27

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	29
2	河川とその周辺環境の保全・整備	18
3	リサイクル可能な資源の利用促進	17
4	自然環境の保全	15
5	消融雪設備の整備促進	13

※80代以上については、回答者が1名とサンプル数が少ないため、年代別の図表から割愛しました。

図表 27　地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	128
2	消融雪設備の整備促進	77
3	自然環境の保全	59
4	リサイクル可能な資源の利用促進	53
5	公園・緑地の整備、緑化の推進	51
	交通安全、防犯体制の強化	51
	消防、防災体制の充実	51

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	14
2	消融雪設備の整備促進	11
3	自然環境の保全	8
4	交通安全、防犯体制の強化	7

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	26
2	リサイクル可能な資源の利用促進	21
3	交通安全、防犯体制の強化	17
4	公園・緑地の整備、緑化の推進	14
	消融雪設備の整備促進	14

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	24
2	河川とその周辺環境の保全・整備	21
3	自然環境の保全	17
	交通安全、防犯体制の強化	17
5	消融雪設備の整備促進	16

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	25
2	消融雪設備の整備促進	17
3	公園・緑地の整備、緑化の推進	13
4	河川とその周辺環境の保全・整備	11
	リサイクル可能な資源の利用促進	11

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	18
2	リサイクル可能な資源の利用促進	10
3	交通安全、防犯体制の強化	9
4	河川とその周辺環境の保全・整備	6
	廃棄物の適正処理	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	18
2	リサイクル可能な資源の利用促進	15
3	公園・緑地の整備、緑化の推進	9
	交通安全、防犯体制の強化	9
5	消融雪設備の整備促進	8

■太田地域

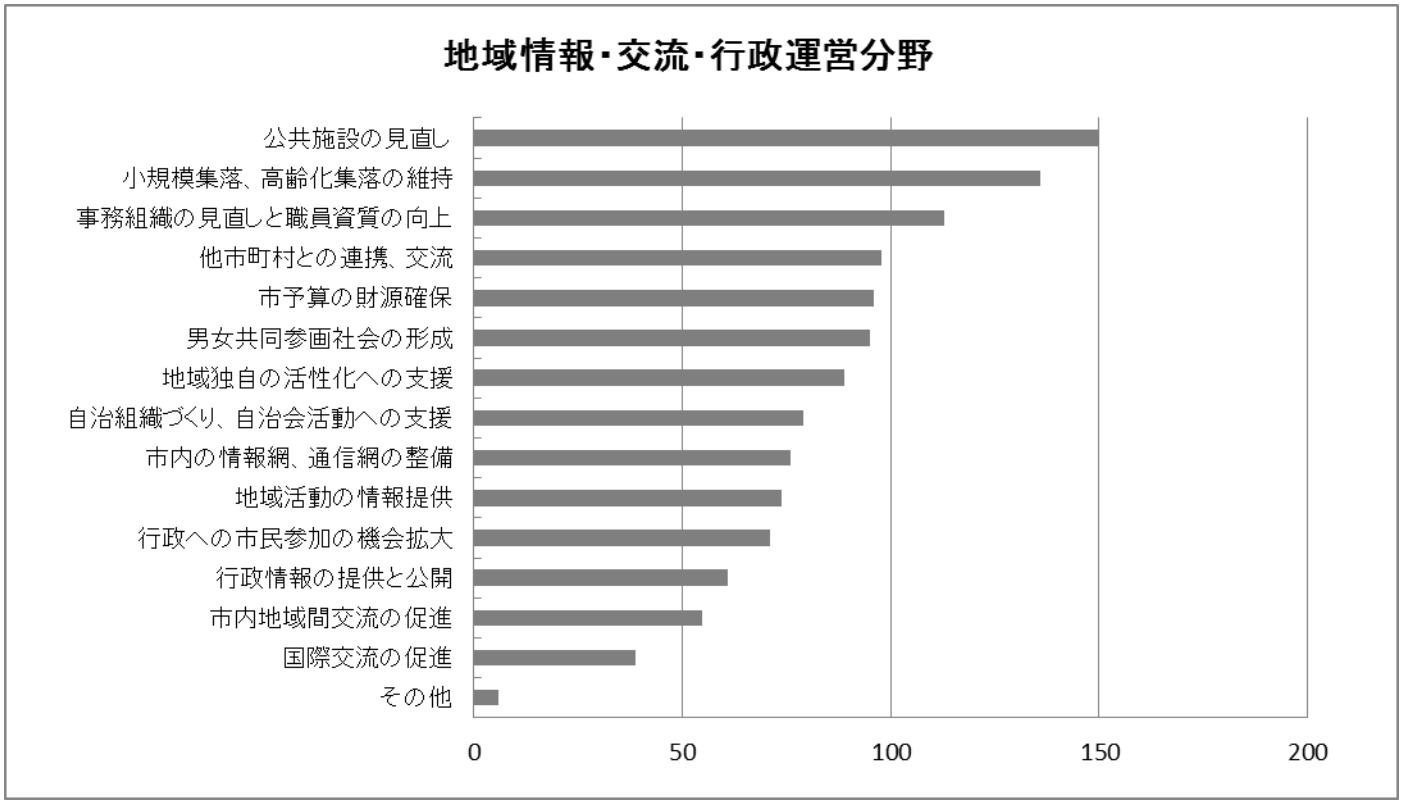
順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	20
2	消融雪設備の整備促進	13
3	交通安全、防犯体制の強化	11
4	消防、防災体制の充実	8
5	自然とふれる場の創出	7
	森林の維持と保全	7
	公園・緑地の整備、緑化の推進	7

2.2.6 地域情報・交流・行政運営分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は昨年同様「公共施設の見直し」、「小規模集落、高齢化集落の維持」、「事務組織の見直しと職員資質の向上」となっている。

一方、下位は昨年同様「国際交流の促進」、「市内地域間交流の促進」、「行政情報の提供と公開」となっている。

図表 28　さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29　年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	他市町村との連携、交流	6
2	小規模集落、高齢化集落の維持	5
	地域独自の活性化への支援	5
	市予算の財源確保	5
5	男女共同参画社会の形成	4
	国際交流の促進	4
	市内の情報網、通信網の整備	4
	公共施設の見直し	4

■20代

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	21
2	男女共同参画社会の形成	18
3	小規模集落、高齢化集落の維持	16
4	市予算の財源確保	14
5	市内の情報網、通信網の整備	13
	地域活動の情報提供	13
	地域独自の活性化への支援	13

■30代

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	26
2	市予算の財源確保	16
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	13
4	男女共同参画社会の形成	11
5	小規模集落、高齢化集落の維持	10

■40代

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	29
2	小規模集落、高齢化集落の維持	22
3	他市町村との連携、交流	20
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	18
5	男女共同参画社会の形成	17
	地域独自の活性化への支援	17
	市予算の財源確保	17

■50代

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	29
2	市予算の財源確保	27
3	公共施設の見直し	26
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	22
5	他市町村との連携、交流	20

■60代

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	37
2	公共施設の見直し	28
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	27
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	25
5	地域独自の活性化への支援	20

■70代

順位	項目	回答数
1	他市町村との連携、交流	18
	事務組織の見直しと職員資質の向上	18
3	自治組織づくり、自治会活動への支援	16
	公共施設の見直し	16
5	小規模集落、高齢化集落の維持	15

※80代以上については、回答者が1名とサンプル数が少ないため、年代別の図表から割愛しました。

図表 30　地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	75
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	57
3	市予算の財源確保	49
4	小規模集落、高齢化集落の維持	41
5	他市町村との連携、交流	40

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	9
2	市予算の財源確保	7
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	6
4	地域独自の活性化への支援	5
	行政情報の提供と公開	5

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	16
2	他市町村との連携、交流	15
3	公共施設の見直し	14
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	13
5	市内の情報網、通信網の整備	12

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	20
2	公共施設の見直し	16
3	他市町村との連携、交流	11
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	10
	地域独自の活性化への支援	10
	市予算の財源確保	10

■協和地域

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	17
2	小規模集落、高齢化集落の維持	14
3	男女共同参画社会の形成	13
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	12
5	地域独自の活性化への支援	11

■南外地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	14
2	他市町村との連携、交流	7
	自治組織づくり、自治会活動への支援	7
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	6
5	男女共同参画社会の形成	5
	市内地域間交流の促進	5
	公共施設の見直し	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	11
	公共施設の見直し	11
3	男女共同参画社会の形成	9
4	他市町村との連携、交流	7

■太田地域

順位	項目	回答数
1	地域独自の活性化への支援	10
2	小規模集落、高齢化集落の維持	9
	事務組織の見直しと職員資質の向上	9
4	公共施設の見直し	8
5	男女共同参画社会の形成	7
	他市町村との連携、交流	7

2.2.7 さらに推進すべき取り組みの総括

健康福祉分野

- さらに推進すべき取り組みの上位は、昨年度同様「育児支援の充実」、「高齢者福祉の充実」、「地域医療体制の整備」となっている。
- 50 代、60 代ではさらに推進すべき取り組みとして「介護予防事業の充実」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- 40 代、50 代では、さらに推進すべき取り組みとして「地域医療体制の整備」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

教育分野

- さらに推進すべき取り組みの上位は「学校教育の充実」、「スポーツ、レクリエーション施設の整備」、「家庭教育、地域教育の推進」となっている。
- 50 代～70 代では、さらに推進すべき取り組みとして「家庭教育、地域教育の推進」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- 70 代でのみ、「非核平和の啓発」の回答が見られた。

産業分野

- さらに推進すべき取り組みの上位は、「農業の担い手確保、育成」、「雇用への支援」、「雇用環境の整備」となっている。
- 10 代～30 代では、さらに推進すべき取り組みとして「観光誘客の推進」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- 40 代～70 代では、さらに推進すべき取り組みとして「企業誘致の強化」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

都市基盤分野

- さらに推進すべき取り組みの上位は、「生活道路の整備」、「生活に即した地域内交通システムの確立」、「生活路線バス運行の維持のための支援」となっている。
- 20 代、30 代では、さらに推進すべき取り組みとして「主要道路網の整備促進」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- 60 代、70 代では、さらに推進すべき取り組みとして「各地域の特徴を活かしたまちづくり」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

環境・安全分野

- さらに推進すべき取り組みの上位は「除排雪体制の充実、整備」、「消融雪施設の整備促進」、「リサイクル可能な資源の利用促進」となっている。
- さらに推進すべき取り組みとして 30 代では、「公園・緑地の整備、緑化の推進」、70 代では、「河川とその周辺環境の保全・整備」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- 20 代、40 代～60 代では、さらに推進すべき取り組みとして「交通安全、防犯体制の強化」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

地域情報・交流・行政運営分野

- さらに推進すべき取り組みの上位は昨年同様「公共施設の見直し」、「小規模集落、高齢化集落の維持」、「事務組織の見直しと職員資質の向上」となっている。
- 10 代、50 代、70 代では、さらに推進すべき取り組みとして「他市町村との連携、交流」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- 10 代～40 代では、さらに推進すべき取り組みとして「男女共同参画社会の形成」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

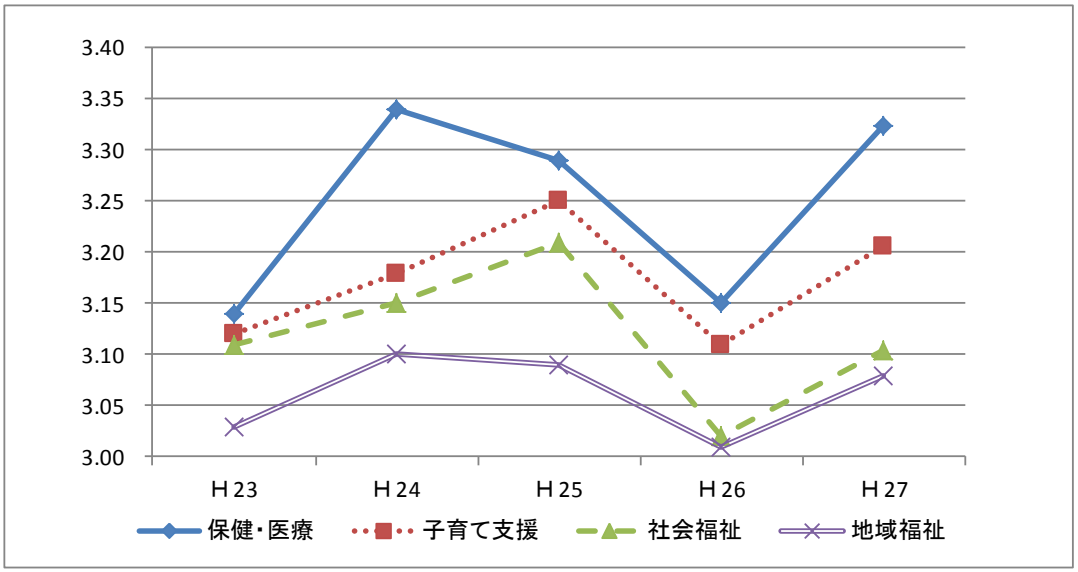
2.3 5年間の経年比較

平成23年度から27年度まで、過去5年間の満足度、重要度、要望度についての推移をまとめた。

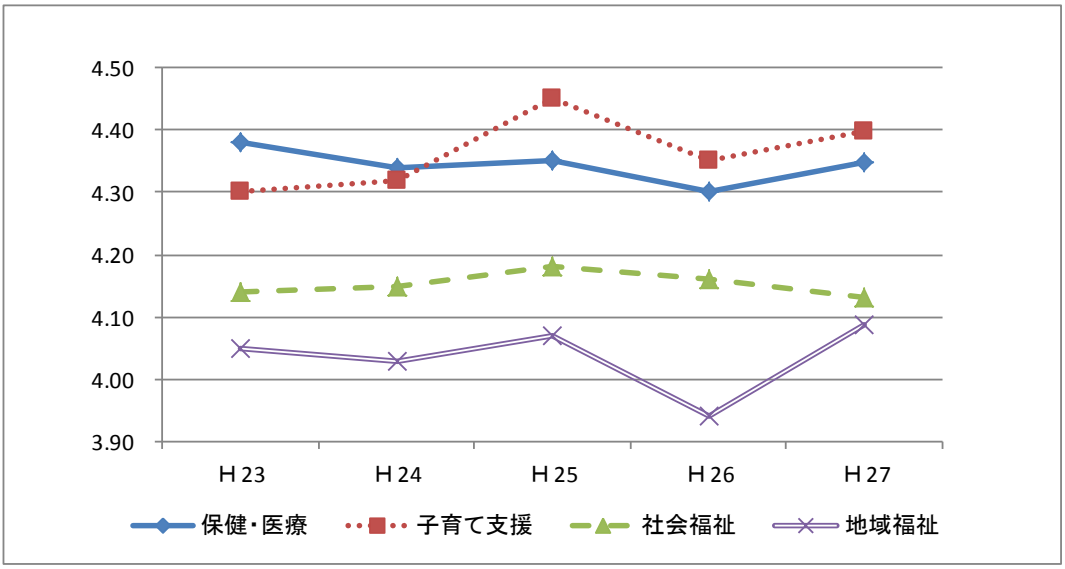
Ⅰ 安心して健やかに暮らせるまちづくり

満足度は低下傾向から上昇への変化が見られる。一方、要望度は上昇傾向から低下への変化が見られる。

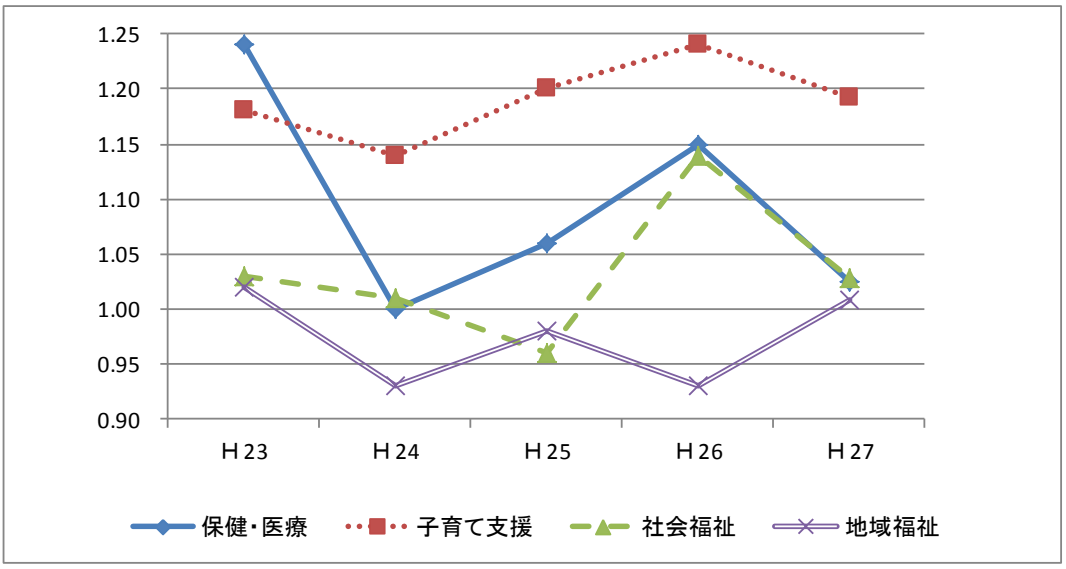
満足度	H23	H24	H25	H26	H27
保健・医療	3.14	3.34	3.29	3.15	3.32
子育て支援	3.12	3.18	3.25	3.11	3.21
社会福祉	3.11	3.15	3.21	3.02	3.10
地域福祉	3.03	3.10	3.09	3.01	3.08



重要度	H23	H24	H25	H26	H27
保健・医療	4.38	4.34	4.35	4.30	4.35
子育て支援	4.30	4.32	4.45	4.35	4.40
社会福祉	4.14	4.15	4.18	4.16	4.13
地域福祉	4.05	4.03	4.07	3.94	4.09



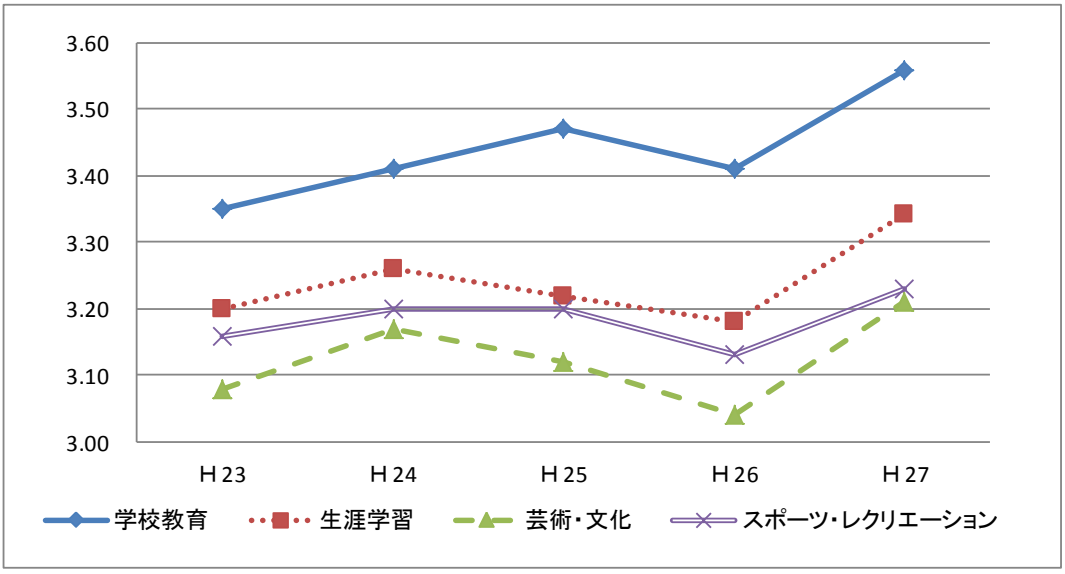
要望度	H23	H24	H25	H26	H27
保健・医療	1.24	1.00	1.06	1.15	1.03
子育て支援	1.18	1.14	1.20	1.24	1.19
社会福祉	1.03	1.01	0.96	1.14	1.03
地域福祉	1.02	0.93	0.98	0.93	1.01



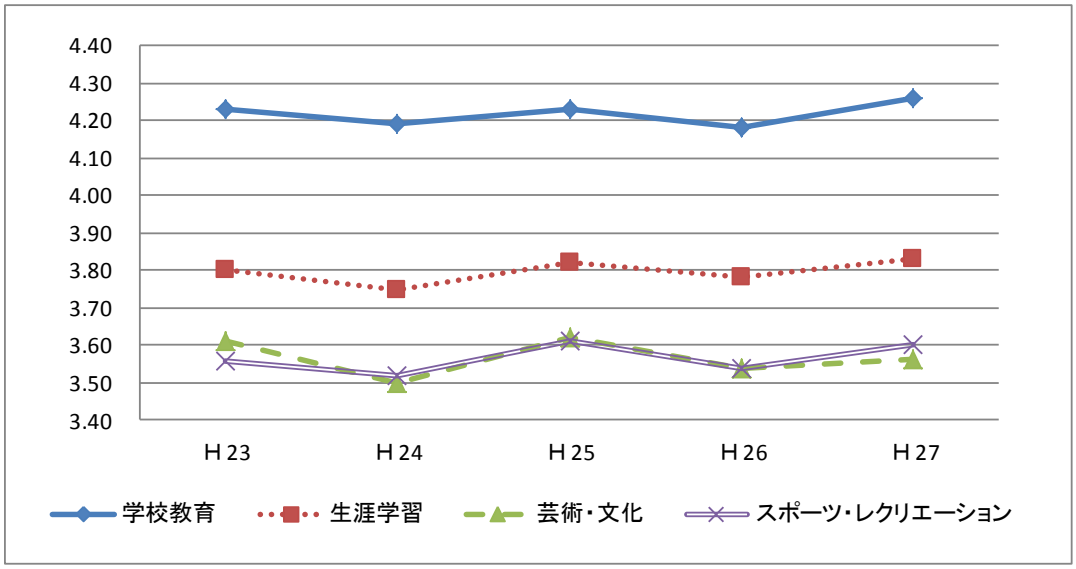
Ⅱ未来を創り心豊かな人を育むまちづくり

「学校教育」の満足度、重要度、要望度が他の項目に比べ高く推移している。

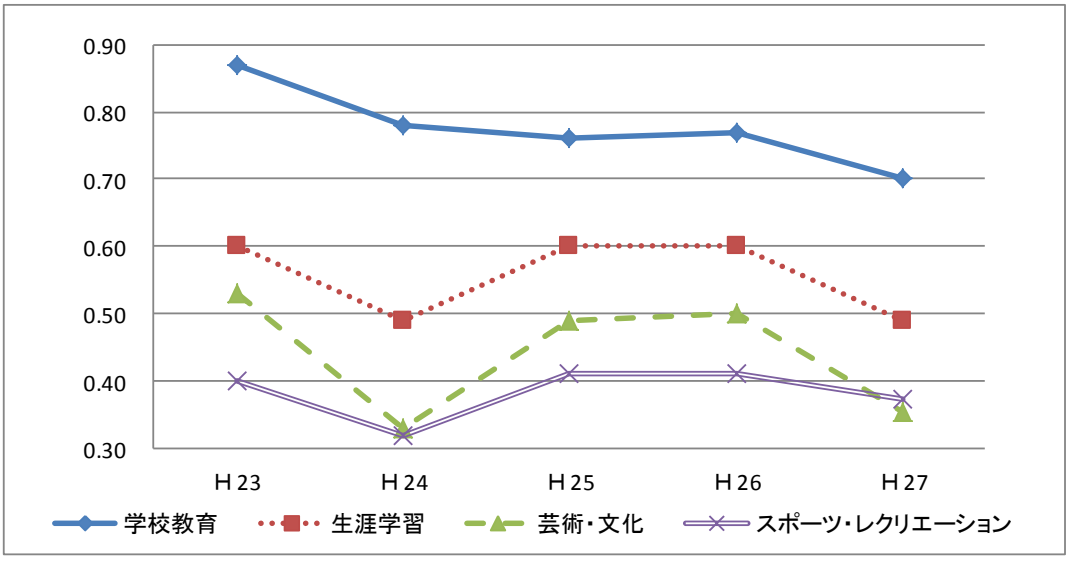
満足度	H23	H24	H25	H26	H27
学校教育	3.35	3.41	3.47	3.41	3.56
生涯学習	3.20	3.26	3.22	3.18	3.34
芸術・文化	3.08	3.17	3.12	3.04	3.21
スポーツ・レクリエーション	3.16	3.20	3.20	3.13	3.23



重要度	H23	H24	H25	H26	H27
学校教育	4.23	4.19	4.23	4.18	4.26
生涯学習	3.80	3.75	3.82	3.78	3.83
芸術・文化	3.61	3.50	3.62	3.54	3.56
スポーツ・レクリエーション	3.56	3.52	3.61	3.54	3.60



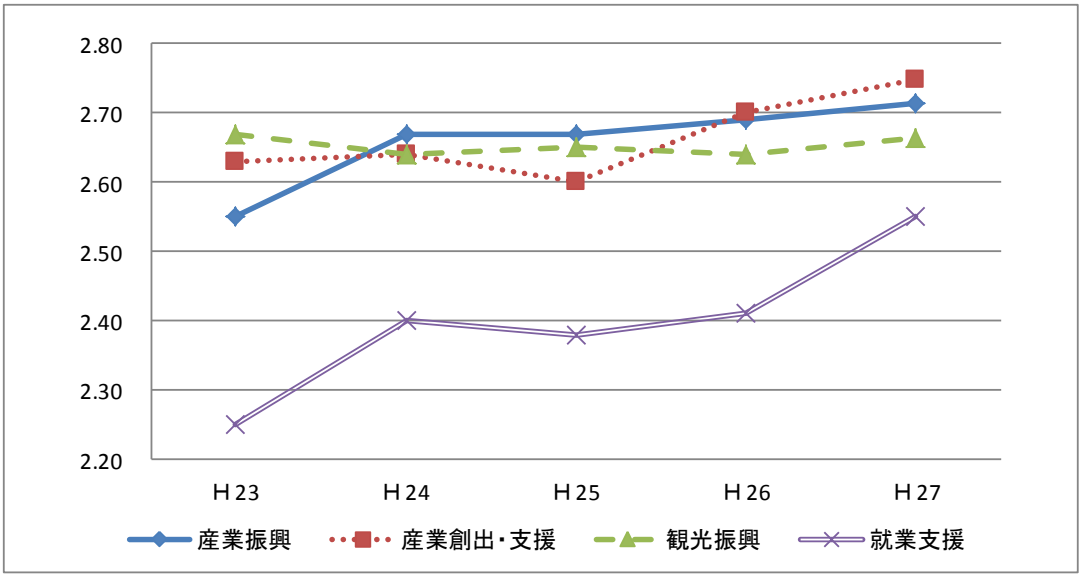
要望度	H23	H24	H25	H26	H27
学校教育	0.87	0.78	0.76	0.77	0.70
生涯学習	0.60	0.49	0.60	0.60	0.49
芸術・文化	0.53	0.33	0.49	0.50	0.35
スポーツ・レクリエーション	0.40	0.32	0.41	0.41	0.37



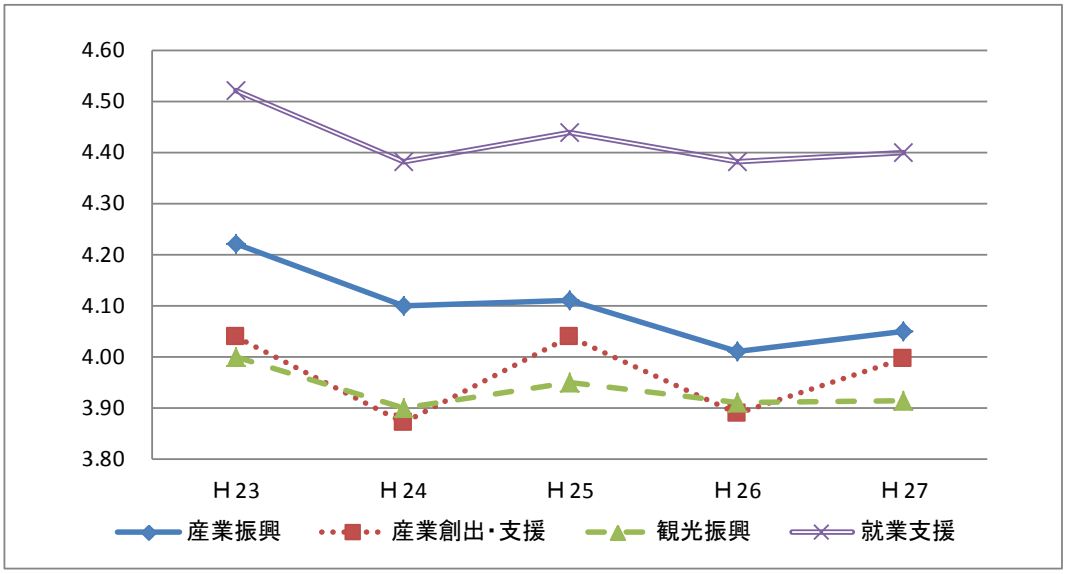
Ⅲ活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり

「就業支援」の満足度は他の項目に比べ低く、重要度と要望度は他の項目に比べ高く推移している。

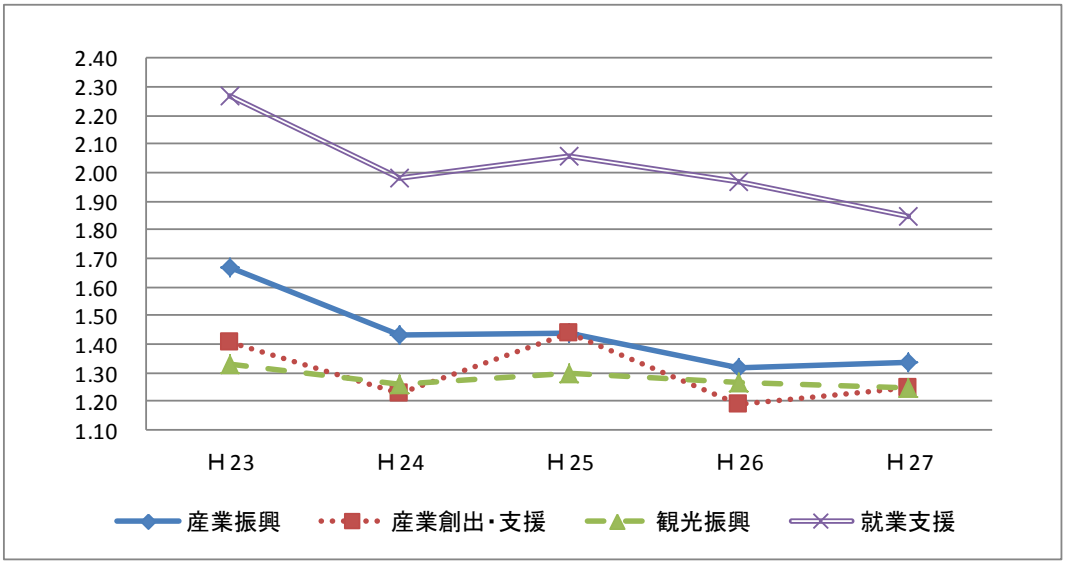
満足度	H23	H24	H25	H26	H27
産業振興	2.55	2.67	2.67	2.69	2.71
産業創出・支援	2.63	2.64	2.60	2.70	2.75
観光振興	2.67	2.64	2.65	2.64	2.66
就業支援	2.25	2.40	2.38	2.41	2.55



重要度	H23	H24	H25	H26	H27
産業振興	4.22	4.10	4.11	4.01	4.05
産業創出・支援	4.04	3.87	4.04	3.89	4.00
観光振興	4.00	3.90	3.95	3.91	3.91
就業支援	4.52	4.38	4.44	4.38	4.40



要望度	H23	H24	H25	H26	H27
産業振興	1.67	1.43	1.44	1.32	1.33
産業創出・支援	1.41	1.23	1.44	1.19	1.25
観光振興	1.33	1.26	1.30	1.27	1.25
就業支援	2.27	1.98	2.06	1.97	1.85

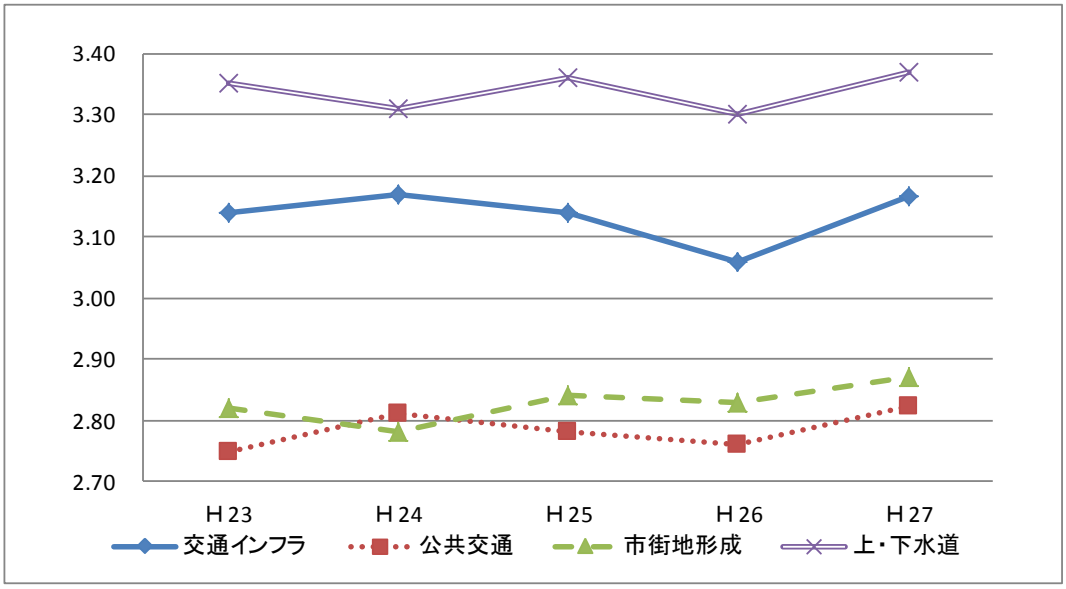


Ⅳ生活の基盤が整ったまちづくり

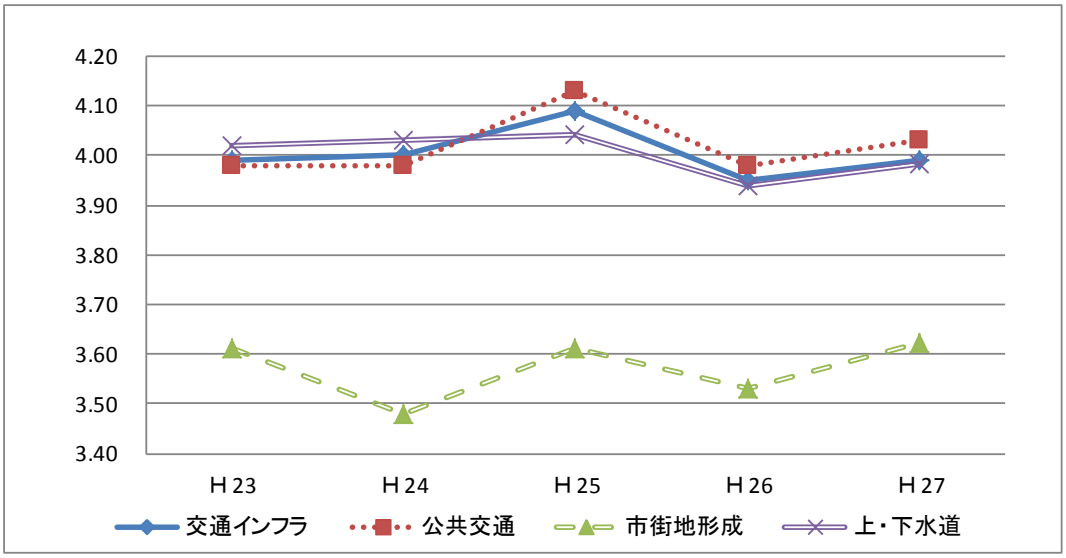
満足度、重要度は低下傾向から上昇に変化している。要望度はほぼ横ばいで推移。

「上・下水道」の満足度、「公共交通」の要望度は他の項目に比べ高い。

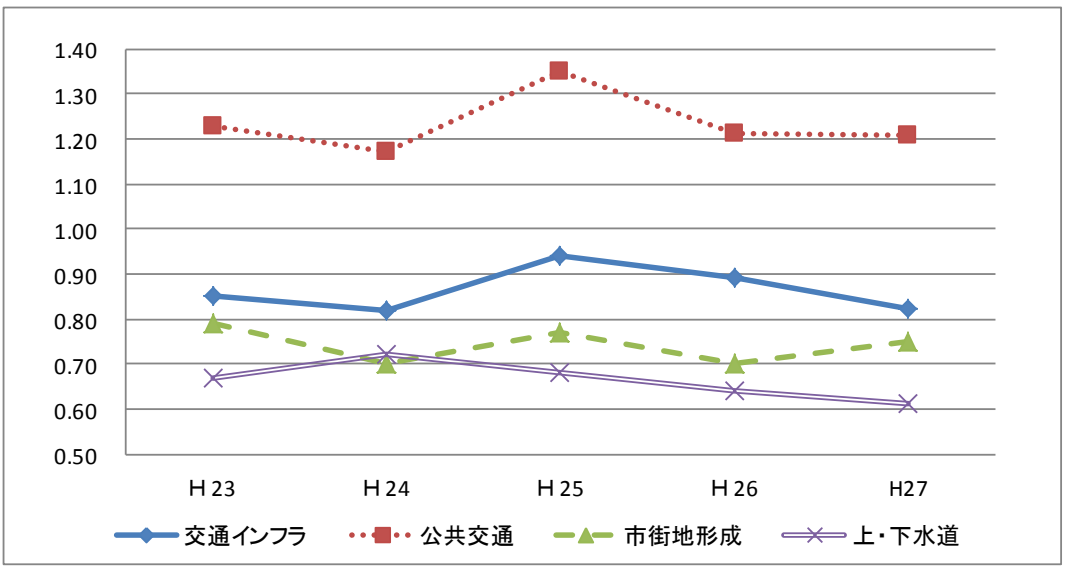
満足度	H23	H24	H25	H26	H27
交通インフラ	3.14	3.17	3.14	3.06	3.17
公共交通	2.75	2.81	2.78	2.76	2.82
市街地形成	2.82	2.78	2.84	2.83	2.87
上･下水道	3.35	3.31	3.36	3.30	3.37



重要度	H23	H24	H25	H26	H27
交通インフラ	3.99	4.00	4.09	3.95	3.99
公共交通	3.98	3.98	4.13	3.98	4.03
市街地形成	3.61	3.48	3.61	3.53	3.62
上・下水道	4.02	4.03	4.04	3.94	3.98



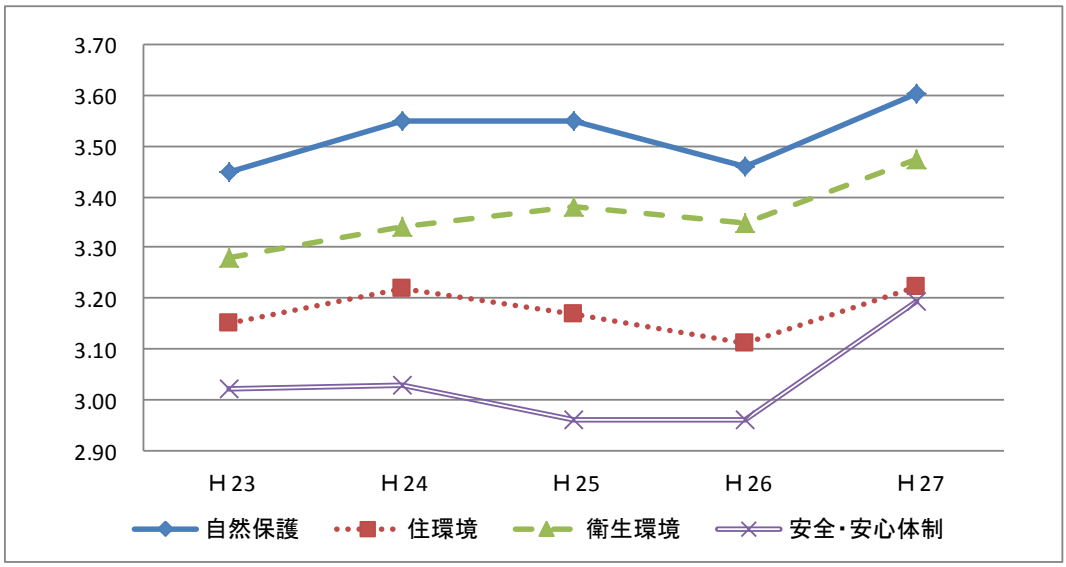
要望度	H23	H24	H25	H26	H27
交通インフラ	0.85	0.82	0.94	0.89	0.82
公共交通	1.23	1.17	1.35	1.21	1.21
市街地形成	0.79	0.70	0.77	0.70	0.75
上・下水道	0.67	0.72	0.68	0.64	0.61



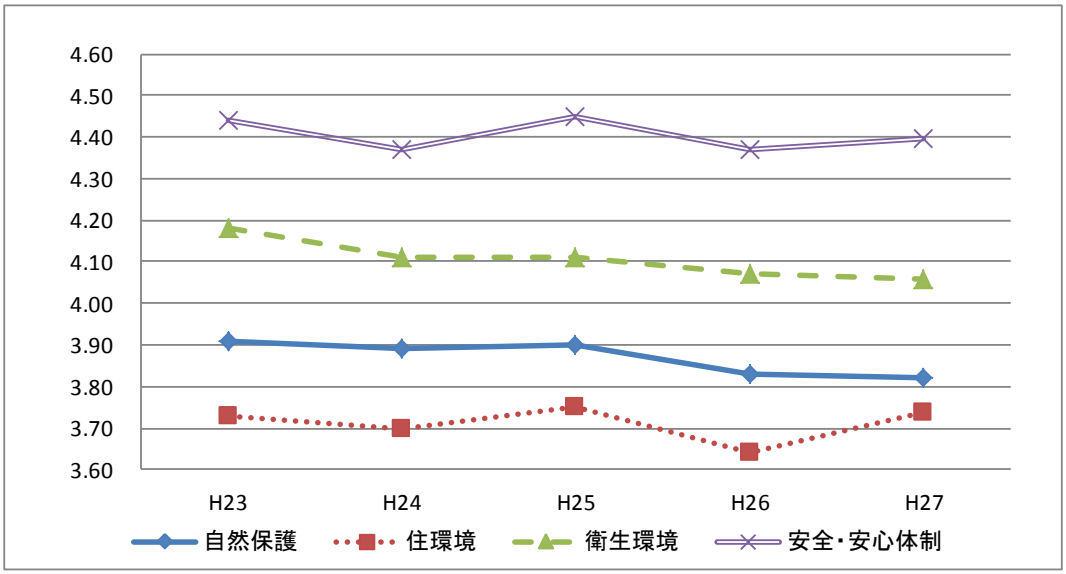
Ⅴ環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり

全項目に対する満足度が上昇し、要望度に低下傾向が見られる。

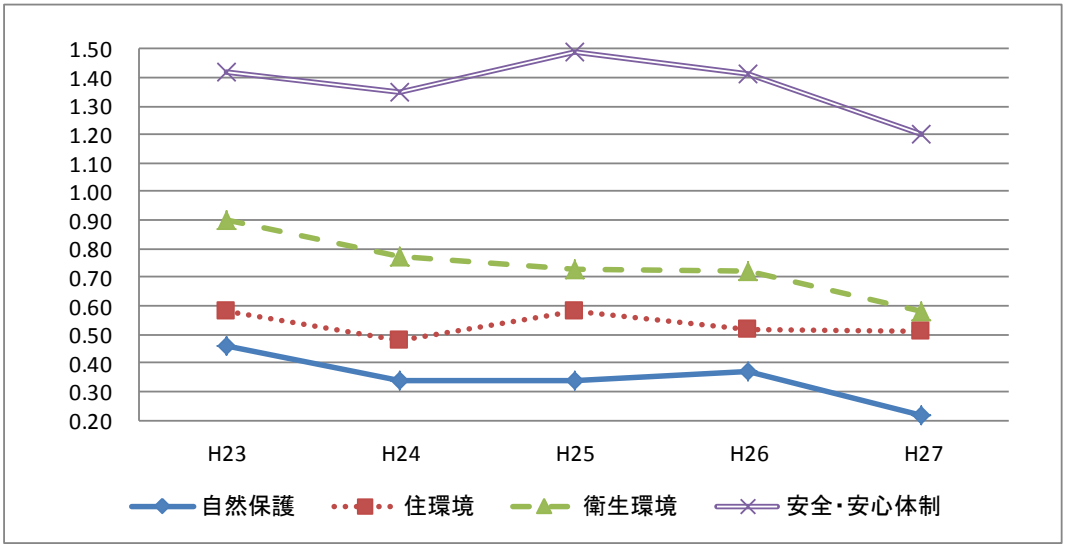
満足度	H23	H24	H25	H26	H27
自然保護	3.45	3.55	3.55	3.46	3.60
住環境	3.15	3.22	3.17	3.11	3.22
衛生環境	3.28	3.34	3.38	3.35	3.48
安全・安心体制	3.02	3.03	2.96	2.96	3.19



重要度	H23	H24	H25	H26	H27
自然保護	3.91	3.89	3.90	3.83	3.82
住環境	3.73	3.70	3.75	3.64	3.74
衛生環境	4.18	4.11	4.11	4.07	4.06
安全・安心体制	4.44	4.37	4.45	4.37	4.39



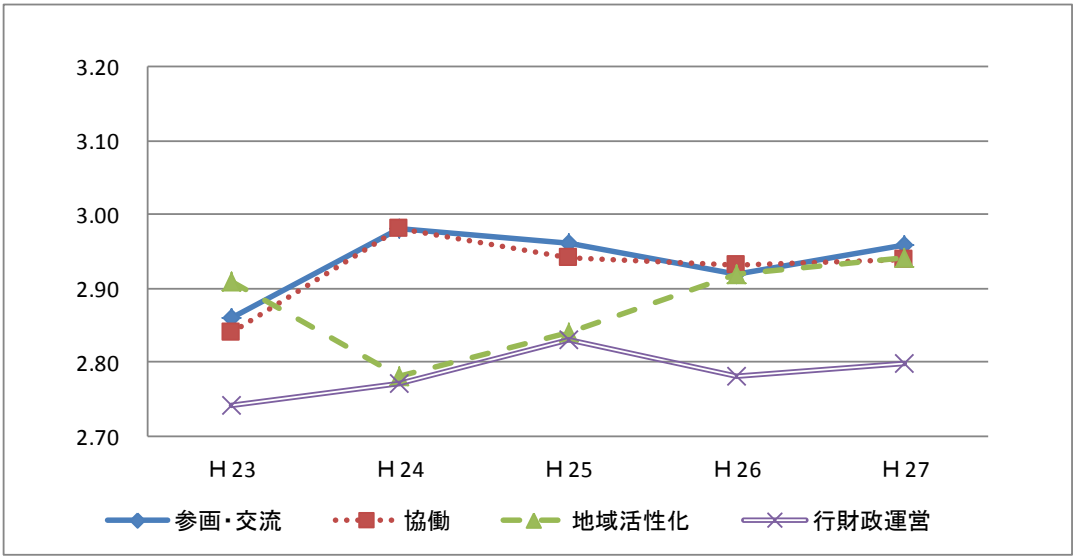
要望度	H23	H24	H25	H26	H27
自然保護	0.46	0.34	0.34	0.37	0.22
住環境	0.58	0.48	0.58	0.52	0.51
衛生環境	0.90	0.77	0.73	0.72	0.58
安全・安心体制	1.42	1.35	1.49	1.41	1.20



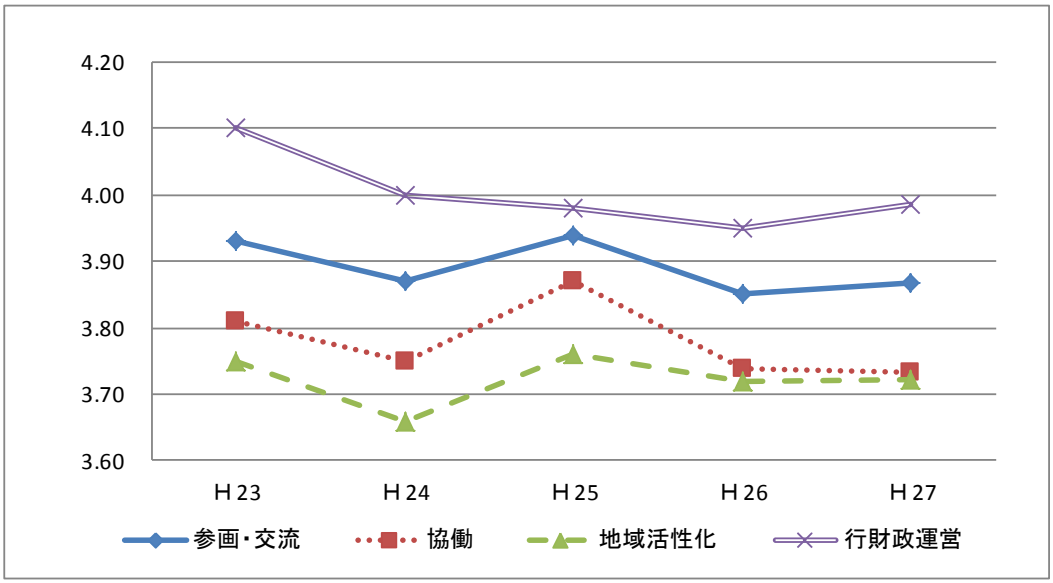
Ⅵ仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり

「行財政運営」に対する満足度は毎年低い傾向にあり、重要度と要望度は高い傾向にある。

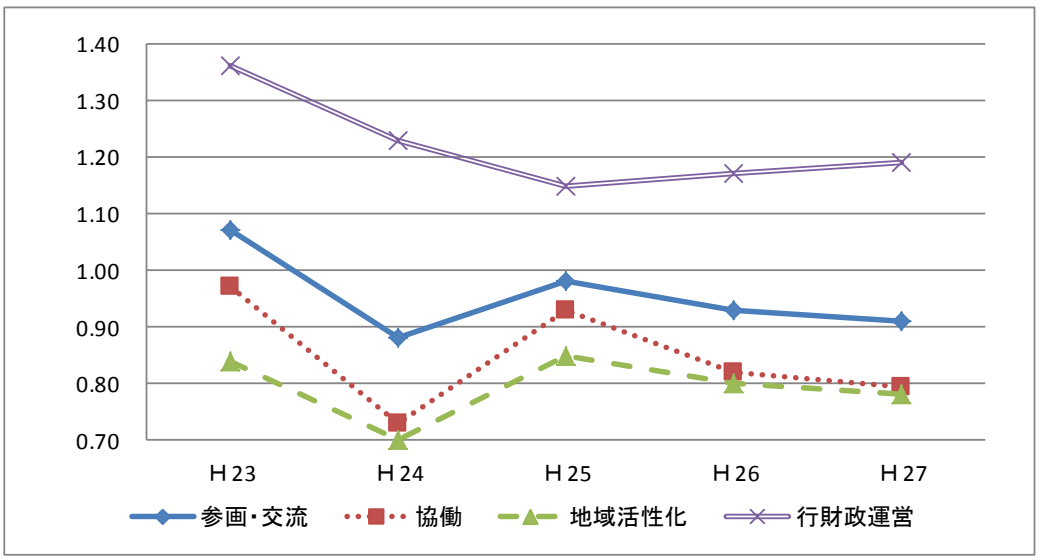
満足度	H23	H24	H25	H26	H27
参画・交流	2.86	2.98	2.96	2.92	2.96
協働	2.84	2.98	2.94	2.93	2.94
地域活性化	2.91	2.78	2.84	2.92	2.94
行財政運営	2.74	2.77	2.83	2.78	2.80



重要度	H23	H24	H25	H26	H27
参画・交流	3.93	3.87	3.94	3.85	3.87
協働	3.81	3.75	3.87	3.74	3.73
地域活性化	3.75	3.66	3.76	3.72	3.72
行財政運営	4.10	4.00	3.98	3.95	3.99



要望度	H23	H24	H25	H26	H27
参画・交流	1.07	0.88	0.98	0.93	0.91
協働	0.97	0.73	0.93	0.82	0.79
地域活性化	0.84	0.70	0.85	0.80	0.78
行財政運営	1.36	1.23	1.15	1.17	1.19



※「行財政運営」については平成23年まで「市政運営」と表記していました。

2.4 自由記述の類型化（抜粋）

市民評価に寄せられた自由意見を分野ごとにまとめた。（一部加筆修正）

健康福祉分野

(1) 保健・医療について

- 少子化問題、高齢化社会の問題を両方一緒に、早急に取り組まなければいけないと思う。地方が充実していかないといけない。子どもを産み育てることに不安がない環境が整えば、結婚して子どもを産んで、大仙市の豊かな自然の中で子育てしたいと思う若者が増えるし、若い人が増えれば、地域の高齢者をサポートするボランティア団体も作りやすい。子どもの医療、高齢者の医療どちらも負担が少なくなるようにしてほしい。（仙北　30 代女性）
- 大曲厚生医療センターの対応が非常に悪い。また、色々な人から不満の声が聞かれる。どうにかしてほしい。（大曲　40 代男性）
- 大曲厚生医療センターについて。私だけが感じていることではないと思うが、スタッフの対応が悪すぎる（特に時間外の事務、看護師の方）。敬語を知らないのだろうか。子どもが２回受診して、２回ともひどい対応だったので、私と同じく市外の医療機関に行くようになった。経営はＪＡなのかも知れないが、税金も多く投入されているはずなので、改善するべき！
  （仙北　40 代男性）
- 厚生医療センター、病院は新しくなったが、中身は同じで対応の悪いスタッフが多く、評判が悪い。そのせいで地域の評判、医療の質の評価も下がる。
  （仙北　30 代女性）

(2) 子育て支援について

- 協和地域にもっと子どもの遊びの場を！！（協和　30 代男性）

- パチンコ屋ばかり増えて、子どもの遊び場が少なすぎる。若者が住みやすくて、子育てしやすい街づくりをしなければ未来はないと思う。（大曲　30 代男性）
- 子育て支援センターをよく利用させて頂いている。３か所、どの広場も利用させて頂いたが、うさちゃん広場のスタッフで威圧的な人が居た。子育てに関して相談しても上から目線のような…。仲の良い（？）お母さん達にはニコニコしているのに、そうでもない人にはどこか冷たく、まるで差別されているようだった。子どもに対しても一定の子ども達とだけ遊び、我が子には声も掛けてくれず…。とても不快で行くのをやめた。私にはどんな態度であろうが我慢出来るが、子どもにはみんな平等に接して欲しい。子どもはまだ保育園、幼稚園に行っていないが、将来入園したときにこのような保育士さんが居たら…と少し心配になる。（神岡　20 代女性）
- 最重要課題は少子化対策、子育て支援！と思われる。子は秋田の宝、国の宝、人類の宝である！少子化が進めばどうなるかを皆で深く思考し大人の意識を変えて、皆で優先的に守ろう！救おう！助けよう！妊婦を、幼児を、小学生を、中学生を、高校生を、大学生を、10 歳代を、20 歳代を、30 歳代を、40 歳代を、50 歳代を！等である。老人、障がい者、各事業等は程々にして後回し！（西仙北　20 代男性）
- 高齢化対策も大事かとは思うが、子どもを産みやすい、育てやすい環境を作るのが最重要課題だと思う。結婚促進がその前にする事かとも思うが。元気のない町になりつつあり、このままでは町が消滅してしまうのではないか。（神岡　50 代女性）
- 全体的に満足しており、暮らしやすい地域だと思う。しかし、少子化と呼ばれる現代において、保育園の入園料の負担などがもっと軽減されれば、若い人たちの地域離れに歯止めがかかると思う（周りの若い夫婦からも「お金がなくて子どもは…」をよく耳にする）。（協和　20 代男性）
- 子育て支援について、昔に比べて随分充実していると思う。かえって他人任せになり、甘えていると感じてしまう時も。お金の使い道も子育てのために使われている？と思うことがあった。子どもが大切なのはわかるのですが、親を甘やかすのは…。私の親は今より生活が苦しかったと思うが、仕事に子育てにもっと必死だったと思う。お金のばらまきではなく、地域、他世代と

の交流やいざという時に協力し合える関係作りのために機会を設けるなど、もっと創意工夫が必要だと思う。（大曲　40 代女性）

- 就学前の子どもの保育料が高すぎ、安心して出産、子育てができる環境であるとは言えない。小、中学校が授業料無料なのに、その前の年齢でお金がかかりすぎると思う。（太田　50 代女性）

(3) 社会福祉について

- 国民健康保険の課税対象が疑問！課税対象が前年の所得となっているが、退職後、国民健康保険に加入し、無職、無収入となったときに前年の収入を課税対象としているので収入ゼロに対し重い国民健康保険料がのしかかり、生活できない。（大曲　60 代男性）
- 高齢者対策は近々の課題であり、即効性の高い行政対応が必要であると考える。特に地域自治会を中心とした一人暮らしの高齢者には常に安全、安心のできる生活場所の確保と対応を！！ただ将来的に考えると秋田県全体が抱える少子高齢化に対し、子ども達その親たちが安心（生活条件）して暮らしていける町づくりが必要。大仙市は面積的には大きい市ではあるが、その多くは山林と田畑。集落は分散している。これをマイナスと捉えるのではなく、プラスと考えるアイディアを。（協和　50 代男性）
- 福祉医療費の年齢をあげてほしい。（南外　60 代男性）
- 脳梗塞により要介護２級。老老介護の毎日。他の地域では高齢者に対して色々な制度があり、定期的に家庭訪問されているが、大曲地域では行政からの訪問等は全く受けた事がない。高齢者に対して（全市民の 30%以上いるので大変でしょうが）今少し考えてほしいと思う。（大曲　70 代女性）
- 長寿社会になり、車の免許を返還して市役所、公民館への選挙は大変で足が遠のく。病院へ通うのも大変。交通手段が必要。今年から中小企業で働く私は月に 120 時間のパートになったが、中小企業の会社では社保、厚生年金の雇用は難しいと言われ、夫は定年退職したので、夫と二人で国保に入っているが、給料も減って大変。中小企業の会社への支援をお願いしたい（厚生年金は 65 歳まで払わなくてはいけない）。（大曲　50 代女性）

- 障がい者と接する機会のある人へ対するセミナーなどがあれば良い。（大曲　20 代男性）
- 横手市や美郷町のように市民に優しい福祉であってほしい！！大仙市は広すぎて、サービス的にも金銭的にも福祉の面でも全てにおいて市民に対して優しくないと感じる事がある。効率化も大切ですが、もう少し検討してみて欲しい。（神岡　40 代男性）
- 障がい者年金や手帳を現実的にもらった方がいい人がもらえず、もらわなくても働けるような人がもらっていたりする現状を何とかして欲しい。生保も。市の職員の対応の悪さも目立つ。子どもが急に熱を出した時、自分も仕事で休めない時サポートして頂ける場所を不安なく確保できるようにしてほしい。（仙北　30 代女性）
- 私の近所のアパートに何人か生活保護を受けている方がいるが、私より若く元気で、毎日魚釣りに出かけている。生活保護の認定が甘いと思う。（大曲　70 代男性）
- 行政に対してとても感謝しているが、今後、できれば医療費、介護保険の値上げ等について慎重に対応して頂きたいと思う。（西仙北　60 代男性）

(4) 地域福祉について

- 私の集落では、赤十字や赤い羽根募金などを半強制的に戸別訪問して集めなければならないようだが、何回も同じ家（一人暮らしの場合や通勤者世帯等）へ行かなければならないし、この非効率の集金業務を前納で一括払いや、税金支払いのようにし振込させるとかできないものか。何か良い案を考えて欲しい。年番制で廻ってくる行政協力員は、ますます老人世帯が多くなってきて廻って歩く方も大変。（大曲　60 代女性）
- 介護は精神的、金銭的に苦しんでいる方々が多い。以前よりも施設利用者は増えたかもしれないが、まだ在宅、家族介護など医者にかかっていない人もいると思う。四六時中そういった方をみているのは大変なことと思う。市町村や地域でも認知症などの介護をがんばっている人をもっと支えて頂けたら嬉しく思う。（大曲　20 代女性）
- 冬期間の除雪（屋根の雪下ろしなど）は高齢者の一人暮らしもそうだが、母子家庭などの男性が少ない（いない）家庭でも喜ばれると思う。女性だけの

家族だと、力が足りずに行えないこともあると思うので、除雪ボランティアの派遣先として範囲に入れてもらえると良いと思った。（大曲　20 代女性）

- いつも市民のために仕事をしてくださって感謝している。私は豪雪、空き家、一人暮らしのご老人が気になっている。特にお金のない方は業者の方には頼むことができないと思うので支所でたまに見回って頂けたら近隣の方たちもホッとすると思う。インターネットの普及で都会と田舎の生活に不便を感じる事はなくなりつつあるので、私は大仙市での生活にとても満足している。車の運転ができない方もまだまだたくさんいると思うので、バスはなくしてほしくない。（神岡　30 代女性）
- 一人暮らしの高齢者が自宅にこもりきりにならないよう他者とのコミュニケーションの時間を持つ支援が必要だが、本人自身が自宅から出たがらなかったり、身体の具合で出られないなどの場合の工夫が何かないものか？（大曲　20 代女性）

教育分野

(1) 学校教育について

- 小中学校で使用する教科書採択の経緯が不透明。前年度の追認や教員による推薦を採択しているのではないか不安。議論を尽くし、市民にも経緯を公表してほしい。教育委員は全教科書に当然目を通すべきだし、義務づけてほしい。（中仙　40 代男性）
- 学校でのいじめに対する対策をとるべきだと思う。（大曲　10 代男性）
- 教育のありかたについて。部活の件だが、自分の入りたい部活がない場合全部他の学校に行っているようだ。これはなんとかならないものか。小さい学校は何もなくなってしまい、子ども達、家族も大変だと思うがいかがなものか。自分のやりたくない部活に入り、だんだん道をずれると思う。今現在そういう子ども達がたくさんいる。もっと社会に気合いを入れて欲しい。（中仙　70 代女性）

- 学校と家庭の連携（本音で話せる）。わかば園でのスタッフの対応の悪さに驚いたことがある。子どもを預ける側として不安。子どもの成長への悪影響があった。先生を評価しているわけではなく、子どもを第一に考えたことを話している。とにかく自分(スタッフ)たちの評価ばかり気にしているのか。あいさつしても無視したり、隠ぺい（イジメ）したり、色々聞いた。スタッフ同士の人間関係の悪さも伝わる。スタッフ教育の必要性があると思う。（仙北　30 代女性）
- 教員の資質向上。（大曲　50 代男性）

(2) 生涯学習について

- 幼稚園による幼児教育の充実と、保育園との差別化。幼稚園単独の存続。道徳教育の推進ならびに充実。（中仙　40 代男性）
- ＰＴＡ廃止、文化活動の廃止。（南外　50 代男性）
- 限られた財源で大仙市の広い地域の行政サービスを行き渡らせる当局の皆さんのご苦労に心からの敬意を。地方創生の為の地域活性化計画の策定が急務になっているが、地域の特性をいかに活性化につなげるか、そして実現、発展させていくか、急激な人口減少と少子高齢化そしてぜい弱な経済基盤のもとで達成するのは相当ハードルが高いと思う。しかし他地域や他県の動向に幻惑されることなく大仙市の特性を生かした計画ができるよう心から願っている。そこで私は「郷土史」を老若男女を問わずあらゆる機会をとらえて学習し、先人の偉業を偲び心から大仙市を愛する風土づくりの施策を心から熱望する。（西仙北　70 代男性）

(3) 芸術・文化について

- 回答なし

(4) スポーツ・レクリエーションについて

- 市民プールの水位が低い。最低限入れるべきラインまで水を入れてほしい。（大曲　20 代男性）
- スポーツ施設の予約のルール化を進めて欲しい（予約可能期限、機会の平均

化)。金曜、土曜の夜など、混み合う時間帯は長期にわたり１団体が占領しているケースがよくある。これでは新たに活動を始める団体に不利であり、スポーツ振興の妨げになっている。施設側で重複しそうな団体同士の仲介役になってもらえればトラブルもなく平等に機会の振り分けが可能と思う（具体例としては神岡体育館、嶽ドーム)。他も同様と思う。基本は早い者勝ちとは理解しているが、それだけでは活性化につながらない。新規活動団体、または単発団体にもやさしいシステム作りを早期に期待する。
（大曲　30 代男性）

- 地域施設の整備（体育館、陸上競技場等)、幼児施設が不足だと思う。
（大曲　50 代男性）
- プールや体育館などをしっかり整備していって欲しい。（大曲　20 代男性）

産業分野

(1) 産業振興について

- この市の基幹産業は農業、そして「大曲の花火」をはじめとした商工業だと思うのだが、実際のところは「大曲の花火」など（毎月開催されている花火大会のこと）の他は発展途上もしくは衰退しているような気がしている。花火一辺倒ではなく、他の産業も発展していくとよいのではないかと思う。
（大曲　40 代女性）
- 米価下落の為、勤めに出なくては生活できない状況になってしまった。
（太田　60 代男性）
- 中小企業を継続していけるように均等に仕事を振り分けて欲しい。ある会社にだけ市からの仕事を融通するのではなくやってほしい。
(仙北　30 代女性)

(2) 産業創出・支援について

- 「人が活き人が集う夢のある田園交流都市」の実現の為には、若い人が定住できる環境（雇用、医療、教育）が最重要課題だと考える。その為にも産業

分野（企業誘致の強化、雇用環境の整備）に力を入れて頂きたいと思う。都市基盤、環境、安全分野などは他の市政と比べても十分評価に値する。年金受給者と生活保護者が多い市では人が活き人が集う事は無理。
（協和　50 代男性）

- 大仙市は大曲でしか買い物や遊び場がないと思う。イオン大曲しかないような気がする。向かいにコストコ、ドン・キホーテなどを呼んでは？駅前には若い人が時間を気にせずに楽しめる飲食店や小物、雑貨店などに来てもらい、週末にぎわうようにしたら（終電後に始発までバスを各支所まで２時間に１本くらい、１人 1,500 円くらいで運行したり）、人口の減少も緩むのでは？海外の人も楽しめる町、秋田市、能代市、大館市がマネしようと思う町づくり。県外から帰ってきて思うのは、楽しみがほんまに少ない。
（西仙北　30 代男性）
- 私たちの地域に住んでいる人たちが幸せであると感じる地域づくりが大切である。誰もが願っている！今ある産業を大切に維持すること！農業のこと、稲作はもちろんのこと、新しいことにチャレンジしている（しいたけ、乾燥野菜、ブルーベリー、ラズベリーなどのジャム作りやペースト作り、葉物野菜、花、苗の栽培など）頑張っている農家、法人への大仙市としてのプログラムがほしい。農業を廃らすことが心配である。命の源は農業。安心して子どもを育て働ける環境づくりをしっかりと充実させてほしい。
（太田　70 代男性）
- あきたこまち以外の品種で地域限定の米（淡雪こまち、つぶぞろい、秋のきらめきみたいな）を選定して、こまち以外の品種に取り組むべき（山形のつや姫などを見習うべき）。（西仙北　30 代男性）

（3）観光振興について

- イベントに参加して大仙市をもっとアピールして欲しい。“ゆるキャラ”もあると良い。人が集まれるイベントを計画して欲しい。“花火”だけではなく！！（仙北　50 代女性）
- 大曲の花火だけでなく、祭りなど若い人（高校生など）を入れてもう少し大曲だという町にしてほしい。（大曲　70 代女性）
- 大曲だけ中心に環境整備が進んでいる。それならば花火だけでなく観光客が多く訪れたくなる観光スポット等を増やしてほしい。（協和　60 代男性）
- 花火以外の観光誘客の推進。（大曲　50 代男性）

- 花火で人が集まる時期に、大仙の魅力を伝えるイベントを大曲地域以外でも行ってほしい（カヌー体験、トレッキング大会など）。（神岡　50 代女性）

(4) 就業支援について

- 私の子ども達も知り合いのお子さん方も大仙市で仕事し、住み続けたいという希望を持っていても、実際職に就くことができず、秋田を離れてしまっている。雇用を生み出すことができれば活性化できると思う。その他は大仙市に満足している。（大曲　50 代女性）
- 大学を卒業し、地元へ帰ることを希望しているが、現実は仕事がなければ困難と思う。自分だけではなくそう思っている同世代の人たちが多くいる事をわかってもらいたい。県外で学んでいる若い人たちに、地元で仕事ができるような環境の整備と働きかけが重要。（太田　10 代男性）
- 男女を問わず就職活動をする時に大仙市に残りたい。地元で頑張りたいと思う。市の運営に期待。（中仙　20 代男性）
- 就職先があると良いと思う。私の周りでも地元（大仙市など）に戻りたくても就職先がなくて県外に出てしまった人が何人かいるので、新卒の若い人などが働ける環境を増やすことが大切になるのではと感じた。
  （大曲　20 代女性）
- 加速度的に少子高齢化が進むと思われる。若い人が他県に出ていかないように仕事の場を増やしてもらいたい。（中仙　60 代男性）
- 高齢化社会での職業整備→ネット販売に伴う運送業者の工夫。
  （神岡　40 代女性）
- 若者の雇用を増やして欲しい。正社員として雇用して欲しい。頑張っていても奨学金の返済があるので自由なお金があまりない。その為に結婚も子どもも難しく考えてしまう。若者の低賃金を解決して欲しい。
  （大曲　20 代女性）

都市基盤整備

(1) 交通インフラについて

- ファミリーボウル（ボウリング場）の土手の道路が穴だらけ。大曲中学校へ登下校する生徒や、ジョギングする人がよく使うので整備して欲しい。（大曲　20 代男性）
- 花火大会までに駅から会場までの道路や環境の整備を希望。土手の上を散歩した時、ガードレールがぐにゃぐにゃでよそからのお客様に恥ずかしいと思った。（大曲　60 代女性）
- 一日も早く鑓見内駅の駐車場を整備してほしい。できれば舗装してほしい。あちこち大きな穴になっていて、雨の日は水たまりがいっぱいでき、利用している高校生もどこを歩いていいか分からないほどひどい状態。整備する話を聞いてはいるが、いつ実行するのか。大きな道路ばかりに手をかけて目立たない駅は手つかずというのには正直あきれている。市民の税金を大切に使ってほしい。（中仙　40 代女性）
- 役場、歩道、公共施設等の柵やガードレール、手すりなど冬の除雪などで折れ曲がったり壊れたりしている所がずっとそのままになっていてとても目につく。外観も悪いし子どもたちの通学路となっている所は安全面でも問題だ。市役所、役場に申し出ても予算がないの一言でまったく改善されない。改善されてもものすごく時間がかかる。もっとスムーズに住民、市民の意見が取り入れられて欲しい。（西仙北　40 代女性）
- 旧金谷橋の後に出来た花火大橋を毎日通っているが、中央線があれば良いと思う。対向車線側に寄って来る車がいて危険だなと思うことが何回もある。→中央線、引かれていたので良かった。（大曲　40 代女性）
- 厚生医療センター付近、飲み屋街ばかり整備されて、各地域は道路に穴があいていたり、ヒビが入っていたり格差を感じる。全体的に考えて欲しい。（仙北　30 代女性）
- 現在協和地域に住んでいて、秋田市や大曲市内へのアクセスは問題ないが、将来的に秋田市と大曲が片道二車線の道路で繋がってくれることを期待している。これから先も協和地域に住んで子育てもしたいと思うが、実際は秋田市または大曲地域に住まざるを得ない。老後のことを考えるといつまでも車を運転できるわけではないので、バスなどを利用して病院や買い物に行けるところに住まなくてはいけない為、その時には今よりもコンパクトな街、利便性の高い公共機関が整っていることを願う。（協和　20 代女性）

- 以前、秋田市の老夫婦が、知人が大曲の「とまき」に住んでいて、その場所に行きたいが迷っている、という場面に出会い案内した事がある。私は多分間違って「戸蒔」に連れて行ったが、あの二人は本当は「戸巻」に行きたかったのでは？と思った。そのとき二人が持っていた駅でもらったという地図二種類がどちらも分かりにくいものだった。それとは別に、イオンに行きたいが迷っている小学生（確か仙北市）をタクシーまで案内した事もあった。大曲が、他地区からの人が迷わない、分かりやすい場所になればいいと思った。（大曲　40 代女性）
- 職場が大曲地区の為、車で通勤している。市街地までの道（バイパス）は良く整備されており、とても運転しやすい。大曲駅周辺（駅裏）も新しい道路が出来て、移動しやすくなった。まだ工事に時間がかかっている道路もあり、早く完成してくれたらと思う。将来家庭を持ったときに大仙市内に住みたいと考えている。「ずっと住み続けたいな」と思えるような暮らしやすい街づくりをして頂きたい。今まであまり市政に対して関心を持つ機会がなかったので、これからは広報等で情報を取り入れていきたい。（協和　20 代女性）
- 道路整備や住宅地整備について首をかしげている人が多いと感じている。全ての人が満足とはならないと思うが、もっと幅広く意見を求めて決定してもらいたい。限りある資金を有効に使ってほしい。（大曲　40 代女性）
- 旧大曲以外の地域の生活道路の早期補修整備！！（中仙　60 代男性）
- 障がい者に優しい道路整備。（中仙　40 代男性）
- インフラ整備は終わった。空き家処分。（中仙　40 代男性）

(2) 公共交通について

- 大仙市内循環バスの充実希望。高齢者が気軽に病院に行けるように整備していただきたい。（協和　60 代男性）
- 高齢者の多い集落、路線バスがなくなり大変不便。（協和　６０代女性）
- 労働人口（若者）が減る一方、高齢者数の増加が顕著だが、生活路線バスが不十分となっている。市内循環バス（大曲）は主な総合病院や専門病院通院に利用されているようだが、各地域においては地域の中だけの生活コミュニ

ティバスはあるものの、大曲の専門病院、総合病院へは直通ではなく、乗り換えが必要であり、使いづらさがある。近所間のつながりが弱くなっており、頼める人、ボランティアもおらず、5,000～10,000 円のタクシー利用となっている高齢者も多くなっている。地域格差のないようにお願いしたい。（神岡　20 代女性）

- 100 円バス。（大曲　20 代女性）
- 高齢化に対応した公共交通の確保が必要（病院など）。（大曲　50 代女性）

(3) 市街地形成について

- 私は大曲市内で生まれ育ち、大曲市内に居住しているが、神岡、西仙北、中仙、協和、南外、仙北、太田地域住民の生活環境に差があると思われるので、大仙市になってから気になっている。（大曲　50 代男性）
- 横手市で一部のエリアで行っている移動販売を大仙市でも実施する必要がある。それが厳しいならコンビニを増やして販売を拡充させる（出羽グリーンロード周辺にあると便利だと思う）。北野目－淀川に通じる道にはコンビニがなく不便に感じる。若い世代を定住させるなら最低限の店も必要。（西仙北　30 代男性）
- 旧大曲地域のみの開発に力が入りすぎている。（中仙　60 代男性）
- 公共施設、都市計画等について、あまりに大曲地域だけを重んじていると思う。合併前の話とはあまりに違うのでないか。大曲地域以外の議員が「力がなさすぎる」。（西仙北　70 代男性）
- 花火ロードの有効活用。（大曲　40 代男性）
- 厚生病院のあたりに大人も子どもも楽しめる何かがあれば、と思う。中心地の活性化を希望（さみしくなってきている）。（大曲　70 代女性）
- あまりにも広すぎる大仙市。中心部だけでなくもっと広範囲に発展を望む。（中仙　70 代女性）

(4) 上・下水道について

- 私の地域に下水道の本管が設置されたが、十年早ければよかった。高額な費用がかかるのに今更、と思う。いつ老人ホームに入るかわからない年齢なのに。（大曲　70 代男性）

環境・安全分野

(1) 自然保護について

- 水資源の保全、管理監督。（中仙　40 代男性）

(2) 住環境について

- 公園があまりないと感じる。遊べる場所があったらいいと思う。（仙北　30 代女性）
- 路地に街灯があった方がいいと思う。暗すぎるので危ない。省エネも大切だが、防犯にも役立つと思う（今の世の中想定外の事が多すぎる）。（大曲　60 代女性）
- 公園とか遊園地等もう少し綺麗な状態にして欲しいと思う。小さい子が遊べる場所、遊具がないナーと。あっても汚れていて、使える状態でなかったりする。（中仙　60 代女性）
- 子ども達を日光に当てて、のびのび遊ぶ姿を老人になってあまり見ることが出来なくなった。子どもをたくさん育てて欲しい。大人もあまり外で遊ぶ事が少ないので、自由に歩き、自分一人でも出来る遊び場が欲しい。簡単な運動が出来る場所が欲しい。（記入なし）
- 私の住んでいる地域は公園等が少なく、小さい子ども達が遊ぶ環境がない。規模が小さくてもいいので、地域の子ども達が集まり遊べるところがあると嬉しい。（中仙　20 代女性）
- 新しいことをして、よりよい街づくりをするのもよいと思うが、今ある施設、人材等の資源を有効活用して、以前から住んでいた人もこれから住む人も安心して暮らしていける街になってほしいと思う。（大曲　30 代女性）
- 市営住宅は団地タイプではなく戸建タイプを。（大曲　40 代女性）

(3) 衛生環境について

- コンビニの近くに田んぼがあるが、空き缶やごみが多くて困っている。ごく限られた人だと思うが、注意喚起できないものか。（大曲　60 代女性）
- 廃棄物の収集回数を増やしてほしい。（西仙北　50 代男性）

(4) 安全・安心体制について

- 救急、消防の範囲が広すぎる。間に合わないケースも出て来ているのではないか？場所によっては他市とも連携してほしい。（太田　40 代男性）
- 高齢者や一人暮らしの多くなってきている地域なので、緊急時や冬の除雪等、これから一人では困りそうな事柄をできるだけ多く知らせて欲しい。その事に対してどのような支援があるのかパンフ等で配ってもらえたら嬉しい。（西仙北　60 代女性）
- 荒川で交通安全の為に置いているマネキンが夜になると結構怖いので、特に小学生は怖がったりすると思うので、そこを改善してもらいたい（今後も行う予定であれば）。（協和　10 代男性）
- 秋田は昔からの雪国。県民、市民が安全で安心のできる生活ができるよう、冬の除雪対策に重点を置き考えて欲しい。住み良い場所には自然に人が集まると思う。（太田　50 代女性）
- 消融雪設備も除雪機もない老人世帯だが、除雪を緑地帯の手前でやめられてしまうとスノーダンプで雪山を登るのは大変。日々の除雪の際、奥の方まで運んでいただけたら。（大曲　60 代女性）
- 住みやすい街、大曲に住んでよかったと思っているが、加齢と共に雪の心配をすることが多くなってきた。除雪の大変さは分かるが、小路でも安心して生活ができればと思う。（大曲　70 代女性）
- 雪国だからもっと考えることがあるはず。（大曲　60 代男性）
- 役所に連絡をしても除雪に来てくれない。（西仙北　20 代男性）
- 除排雪体制について、まだまだすみずみまで行き届いていない。もっときめ細やかな体制でお願いしたい。（西仙北　50 代男性）

- たしか大館だと思うが、リサイクル可能な資源を回収し、市民に安く提供、再利用してもらっているというのがＴＶで紹介されていた。大仙市では？また、冬期、雪の捨て場がない所では空き地を市が借り上げ、雪捨て場とし利用してもらい、春になったらそこの住民が皆で掃除(空き地)するというのもどこかで行っていたようだ（実際雪捨て場がなく困っているので）。（協和　40 代女性）
- 新しくなった融雪溝、排雪溝は役に立たない作りに変えられたと思う。使う身になって作るべきものが多いと思う。将来的に無駄なものだったり不便なものだったり…。（神岡　50 代女性）
- 除雪の頻度を増やす、融雪溝を増やす、消雪パイプの増加など雪の対策。（神岡　30 代男性）
- 除雪がデコボコで滑り、事故に遭いそうになるので、もう少しキレイにやってほしい。田茂木地区で中学校近くの土手まで歩道がなくて、小学生が登校時道も狭く、ダンプもビュンビュン通るのでとても危険！！歩道を作ってほしい！！冬場はもっと危険。子ども達の安全のためお願いしたい。（仙北　30 代女性）

地域情報・交流・行政運営分野

(1) 参画・交流について

- 私だけだと思うが、男女共同参画についてはっきり理解していないので、趣旨等説明していただけないだろうか。市政に関しては細部まで目を向け運営されていると思う。（神岡　60 代女性）
- 各種イベントに多くの人が参加できるよう、今回のアンケートのように無作為に抽出された市民に招待状等を郵送し参加の枠を広げたらどうか。（西仙北　50 代男性）
- 若い人がより参加しやすい行事やイベントの充実。（西仙北　20 代女性）
- 街コンのようなイベントの回数を増やして欲しい（周辺に若い人がいない為）。（西仙北　30 代男性）
- 国際交流の促進は結婚や少子化対策にもなる。（大曲　20 代女性）

- 市職員の皆様は本当によくがんばっておられると思う。若い人が参加できるイベント、娯楽施設がもっとあればいいと思う。（大曲　20 代男性）

(2) 協働について

- より住みよい町になるように、行政と住民が協働していかなければならないと思う。（大曲　30 代男性）
- 現在の市政には概ね満足している。それぞれ自分の置かれている環境によって意見は違うものであると思うが、若者が地元に根付いていける、地元を好きになれる街であって欲しいと考える。（大曲　40 代男性）
- 市ＨＰでの情報の提供、市報との連動（横手市が好例）。（大曲　30 代男性）
- 「稼ぐまちが地方を変える」（木下斉著）という本を市の職員の皆様一人ひとりに読んで頂きたいと思う。もっと民間と市民を活用して頂きたい。補助金には頼らない自立型のまちづくりを目指し、推進してもらいたいと思う。例えば公園の整備は業者に丸投げにせず市民ボランティアを募集して土曜、日曜で整備するとか、高校に学食を導入して、健康で体に良い食事を提供する市内の飲食店に日替わりで入ってもらうとか。市民と協働の市政に変えてもらいたいと思う。できる範囲内で、微力ながら協力をしていきたい。（大曲　30 代男性）
- 若い人達の発想が少しでも街づくりに反映される事が魅力ある地域、街づくりへのステップだと思う。（大曲　50 代女性）

(3) 地域活性化について

- 秋田県は人口減少率全国一位。数年後には消滅する地域もあるという。老後の生活に不安を感じている。どうするべきか特別な提案もないが、大仙市は県外の人からは「花火」で有名なようなので、たとえば「ふるさと納税」に活用するとか？最近では 500 歳野球にも力を入れているようなので、皆さんの力で大仙市を盛り上げていってほしい。（協和　50 代女性）
- 地域の自治活動が従来よりも後退しているように思う。各町内における諸活動、組織づくりも長年のマンネリ化に陥り、枯渇しているようで、地域への

意識が次第に薄れていっている（行政では防災計画など策定しているが、各町内の末端まで浸透していないのが実情である）。高齢化が進み、なるべく医療費を切り詰めるには各個人の健康づくりが鍵となっている。後期高齢者にも体を動かすことのできる施設や運営にもっと力を入れてほしい。
（大曲　60 代女性）

- 限界集落に光を！（西仙北　20 代男性）
- 西仙北の大通りはシャッター通りになってしまった。今後のことを考えてほしいと思う。（西仙北　30 代男性）
- 大曲丸子川以南の商店街の活発を考えてもらいたい。何か行事があるたびに中通町で終わりになる。（大曲　80 代男性）

(4) 行財政運営について

- 人口減少、高齢化は市民全員が実感しているところだと思う。ムリな背伸びをせずに、生活に即した市政を望む。（南外　40 代女性）
- 休日時の市職員（日直）の対応の悪さ。休日時は住民票などの届出書類は予約が必要なのですか？（平成 27．1．31、中仙支所の日直！女性！名札も付けずに意地悪な対応を受けた）非常に不愉快！　（協和　30 代男性）
- 今頃こんな事も出来ていない行政の病気のレベルは最低だと思う。今からでは手遅れではないだろうか？大仙市が出来て 10 年だとか。大曲以外の町村もある事を考えた事があるのだろうか？（大曲　60 代男性）
- 行政が取り組むべきことは、市職員の向上があってこそだと思う。昼休みに用事を済ませようとすると担当者がいないと分からない、と対応が悪くて落ち込む。職員組合に力を入れて、仕事をしていない人も見かける。市民に対しての窓口と電話での対応にとても残念なことをしている。どうかこれからも努力していただきたい。（南外　50 代女性）
- 市民は暑くても寒くても毎日一生懸命に働いている。職員の方々の中には夏は涼しい所で「のほほんと」冬は暖かい庁内で仕事をして、市民の相談も他人事のように考えている方がいる。確かに他人事だが、もう少し市民の心の悩みを聞いて欲しい。本当に親身に対応してもらってすごくうれしかった。年寄りをかかえて、介護と仕事に毎日大変な思いで自身の体調が悪くても休んでいられない私たち市民がいる事も忘れないでほしい。若い職員の方々、いい大学を出て偉い方でしょうが、市民あっての職員ということを忘れないでほしい。（仙北　50 代女性）

- 一部の住民だけ、また一部地域の者だけが恩恵を受けるような行政はしてほしくない。（大曲　60 代男性）
- このアンケートで市行政をしている方は何が知りたいのか？「重要度」で「重要ではない」ものなどないのではないか。このアンケートで「重要ではない」が多ければやらないという考えなのか？（大曲　60 代男性）
- 中央に力を入れすぎ。（太田　60 代男性）
- 役所の営業時間を平日 20 時、休日も半日でもいいから考えて頂きたい。平日の 17 時に閉まり、祝日、休日に営業していない現状では役所に行く時間が無さすぎて大変不便。（大曲　20 代男性）
- 市役所によく行く機会があるが、担当の人が留守だと分からなかったり、話してもらった事が違ったり、ちょっと不満の時がある。（中仙　６０代女性）
- 支所の窓口受付時間を延長してほしい（平日フルタイムで働いている為、休みを取ってまでは行きづらい。月一回でも休日に受付してくれると利用しやすい）。（協和　20 代女性）
- 職員削減。（太田　40 代男性）
- 全て行政がやる事だろうが？（大曲　60 代男性）
- 市の運営や行事が分かりにくい。広報が回ってこない時がある。（仙北　30 代女性）
- 職員資質の向上（事務組織の見直しは不要）。（大曲　30 代男性）
- 職員のモラルの問題だが、本庁へ行くと市民の出入りが多いせいか、用事で来た市民としてではなく単なる知り合いとしてのおしゃべりを見かける。支所ではそんな事はないが…。手短かにお願いしたい、と感じることがある。（大曲　40 代男性）
- 定年する職員が３月になると有給消化の為か半日休みが続き、他の職員では分からなく、非常に不便を感じた。結局お願いしたいことをやってもらえなく担当者は定年となった。有給消化の仕方を考えて欲しい。（大曲　40 代男性）
- 住民税などの税金のわりに特に還元がみられない。（大曲　30 代男性）

その他

- 少子高齢化になり人口減少を食い止めるには、何か手を打ってもらいたい。他県の人も住んでもらえるようにして人口を増やす方法を作ってもらいたい。（仙北　30 代男性）

- 施設利用の手続きの簡素化。（大曲　30 代男性）
- 大仙市となっても旧市町村単位のまま色々な事がやられている。それはそれでわかるのだが、例えば市での健康診断の日程は（自分の地域の事しか分からないが）、勤務先が住んでいる地域ではない別の地域のとき等わざわざ地元に戻らなくても勤務先の地域で受けられるように情報をもっと発信して欲しい（紙でなくてＨＰで見られるようにとか）。ＨＰも他の県外のと比べるとまだまだ不親切な部分が多い。もっともっと充実させて欲しい（参考までに、一関市はすごい）。（大曲　40 代男性）
- 市議会の方々の活動が、はっきり見えてこない。市議会に対して調査費が出ていると聞くが、その活用が市民に良く解らない。（大曲　80 代男性）
- 大仙市役所大曲支所の入口右横に喫煙室があるが、その排気口がリサイクルボックス側にあり、リサイクルに入れる時にまともに煙を被る時がある。排気口の変更を早急に望む。（協和　40 代男性）
- 大曲地域で生まれて育っているが、テレビのチャンネル数が少なすぎるのが不満。（大曲　20 代女性）
- 大仙市のホームページがちょっと分かりにくい。国文祭のバナーはもういらないのでは？先日、住民票の申請書をダウンロードしようと思ったが、ファイルがどこにあるのかイマイチ分かりにくかった。市民が一番使用する情報を分かりやすいところに表示してもらえるとありがたい。
  （仙北　40 代男性）
- 市民が生活しやすいまちづくり必要。市民サービスに力を入れる。
  （大曲　60 代男性）
- 子育て環境を充実させ、市民と企業を増やせる環境を整えてほしい。
  （神岡　30 代男性）
- 選挙の時だけ頑張る議員。普段困った時は知らないフリ。地域のためではなく自分だけのための議員なら辞めてほしい。どんな活動をしているのか全く分からない。（仙北　30 代女性）
- 広報など、まとまっている項目ですばらしいと思うが、誰がみても分かるようにしてほしい。もっと地域で何をしているのか、イベントなどもっと伝わるようにしてほしい。（仙北　30 代女性）

- アンケート配布とともに、大仙市総合計画の内容資料を入れてもらえればアンケートに答えやすいと思う。ＵＲＬは記載されているが、自分で見る人はなかなかいないのでは。（仙北　30 代男性）
- 高齢者なので、あまり深く考えていない。（協和　60 代女性）
- Ａｎｂｅｅに行政の支所やショップも設置し、診察の待ち時間に利用できるサービスを行ってほしい。（神岡　40 代女性）
- 大仙市にはあまり魅力がない。人が集まるのは花火だけ。雇用の場が少ない。賃金が安い。若者の都市流出。高齢化社会について不安。極端な話、餓死を待つのみか？（仙北　50 代男性）
- 各分野の情報提供を希望。（大曲　40 代女性）
- このようなアンケートが届いてもこのあたりの地域はお年寄りが多いので結局は何が役立つのか？（南外　40 代男性）
- 公共交通機関が整備不足だと思った。若者が住みにくい環境だと思う。土地をもっと有効活用した方が良いと思う。（大曲　10 代女性）
- 高齢化社会になっていくので老人が安心して暮らせる市にしてもらいたい。ここ数年空き家が目につくようになった。台風が来たらキケンな家もあり、何か良い対策はないか？（大曲　50 代男性）
- 横手市大森地区の「シルバーエリア」のような複合型施設があってもよいかと思う。温泉と児童施設、プールなど一つの場所にあり、子育てをする親にしてみればありがたい場所になると思う。一度見学に行ってみては。（太田　40 代女性）
- 大仙にある自然や産業を生かし、若い人達が働き、子育てしやすい町づくりをしてほしい。（神岡　40 代女性）
- 色々あるが、物価高で毎日消費するのににらめっこしている状況。ストレスのたまる毎日。笑いながら過ごせる日々でありたい！！人様に迷惑をかけないように努めている。幸い自然豊かな地に住まわせていただいており、感謝している。（神岡　70 代女性）
- 高齢化が進むにつれて、老人の中流所得者は市営住宅、マンション、老人施設に住まいを移す傾向が推測される。家族代々住む家以外は宅地の下水道整備は税金の大きな損失になる。それよりも独居老人が増える備えとして、公共大型住居を整備し、下水道整備の他に独居老人の生死の管理をしていくと

良いと思った。これから少子化が避けられない以上、外国人の流入に歯止めが掛からなくなると思う。国際結婚の二重国籍の子どもは増えると思うが、外国人受け入れに異論はない。これからはイギリスのように福祉看護に外国人を率先して使う（日本人が沢山従事）システムなども 10、20 年後にはおそらく増えてくる。備えとして、外国人向けの防犯対策。小さくても今から対策本部（前身）を作らなくてはならない。真面目な外国人に対し、就労先からのビザ発行や帰化するための手引き、税金、社会保障など将来やることは山ほどある。他にもシェルガスの取り組みに対し、大仙市も何かしらの援助や手をさしのべるきっかけを作るなど（人材、必要物資の作成、準備）して県内外からの外資を稼ぐきっかけを作ると将来の大仙市の未来は明るいと思う。（若者も集まれば一石二鳥）これからはパソコンができる世代の老人化社会なので、ネット販売も伸びると予想される。それに付随する様々な対応策にもアイディアが広がる。（神岡　40 代女性）

- 現在、大曲駅前の開発が進んでおり、完成後が楽しみ。今後も駅前地区、特に商店街が閑散とならず、市内外から来られる方々にがっかりされない町づくり開発をしていってもらいたい。また、交通の利便性からも住み良い町と私自身思っておりますが、働ける場所をもっと増やしていただき、若い方々が定住できるような魅力ある町になってくれたらと願う。
  （大曲　60 代男性）
- 問一（施策の満足度と重要度）について。大事な事柄なのだが、毎日忙しく暮らしていてあまり考えたり話し合うこともなく、それぞれの施策として、どんなことがなされているのか評価の基となることが思い浮かばず選択できなかった。（仙北　50 代女性）

資料

・平成 27 年度「市民による市政評価」調査票

大仙市の将来のために

平成２７年度市民による市政評価
ご協力のお願い

市民の皆様には、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

大仙市では、『人が活き人が集う夢のある田園交流都市』を将来都市像とし、平成18年度から27年度までの10年間のまちづくりの基本的指針を示した「大仙市総合計画*」を策定し、推進しています。

この「市民による市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていらっしゃることや、まちづくりに対する要望をお聞きするものです。

皆さまからいただいたご回答は、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、「市民による市政評価」の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。

平成27年5月
大仙市長　栗　林　次　美

*「大仙市総合計画」はhttp://www.city.daisen.akita.jp/s/s/でご覧いただけます。

調査票の提出締切

お答えはこの調査票に直接ご記入いただき、**6月5日（金）**までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。（切手は不要です。）

調査方法について

※ この調査票は、市内にお住まいになっている18歳以上の方から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。

※ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。ご本人にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直にご回答ください。

ご記入方法

1　この調査は原則として封筒の宛名ご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方（ただし、18歳以上の方）がお答えいただいても結構です。

2　質問のあとに **（○はそれぞれ1つ）** とあるときには、あてはまる回答を1つ選び、番号を○で囲んでください。

（例）　(5)　4　3　2　1

3　質問のあとに **（○はいくつでも）** とあるときには、いくつ選んでも構いません。あてはまる回答の番号を○で囲んでください。

（例）　(5)　4　(3)　2　(1)

4　あてはまる項目がないときは、「その他（　）」に具体的にご記入ください。

お問い合わせ

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話：0187-63-1111（内線229）　FAX：0187-63-1119
メール：sougou@city.daisen.akita.jp

問１　施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の現状にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」についてあなたのお考えに一番近い番号を**それぞれ1つずつ**選んで、○印をつけてください。（○はそれぞれ１つ）

満足度と重要度 ＼ 設問項目			満足度					重要度				
			5 満足	4 まあ満足	3 どちらともいえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらともいえない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
		〈記入例〉	5	(4)	3	2	1	5	4	(3)	2	1
Ⅰ 安心して健やかに暮らせるまちづくり	①	**（保健・医療）** 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	**（子育て支援）** 安心して子育てができる社会環境について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	**（社会福祉）** 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	**（地域福祉）** 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅱ 未来を創り心豊かな人を育むまちづくり	①	**（学校教育）** 学習意欲と能力を養う学校教育について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	**（生涯学習）** 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	**（芸術・文化）** 芸術、文化活動、文化財に触れる機会について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	**（スポーツ・レクリエーション）** スポーツ・レクリエーションを通した豊かな生活の実現について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

（つづき）

満足度と重要度 / 設問項目			満足度 5 満足	4 まあ満足	3 どちらともいえない	2 やや不満	1 不満	重要度 5 重要	4 やや重要	3 どちらともいえない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅲ 活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり	①	**（産業振興）** 農林業、商工業を中心とした産業振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	**（産業創出・支援）** 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	**（観光振興）** 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	**（就業支援）** 就業希望者に対するさまざまな支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅳ 生活の基盤が整ったまちづくり	①	**（交通インフラ）** 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	**（公共交通）** 長寿社会に対応した公共交通の確保について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	**（市街地形成）** 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	**（上・下水道）** 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

（つづき）

満足度と重要度 / 設問項目			満足度 5 満足	4 まあ満足	3 どちらともいえない	2 やや不満	1 不満	重要度 5 重要	4 やや重要	3 どちらともいえない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅴ 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり	①	**（自然保護）** 緑豊かな自然環境の保全について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	**（住環境）** 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	**（衛生環境）** 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	**（安全・安心体制）** 消防・防災体制や雪対策の強化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅵ 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり	①	**（参画・交流）** 大仙市を訪れる人が魅力に感じる、温かみのある地域づくりについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	**（協働）** 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	**（地域活性化）** 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	**（行財政運営）** 市の行財政運営の効率化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問２　今後、さらに推進すべき取り組みについて

設問1　あなたが**健康福祉分野**で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○印をつけてください。　（○はいくつでも）

1　地域医療体制の整備	2　健康づくりの推進
3　病気予防体制の充実	4　母子保健の充実
5　育児支援の充実	6　保育体制の充実
7　児童館、児童クラブなどの充実	8　福祉活動のネットワーク化、ボランティア化
9　母子、父子福祉の充実	10　障がい（身体、知的、精神）者・児への福祉
11　高齢者福祉の充実	12　介護予防事業の充実
13　国民健康保険などの社会保障の促進	14　福祉施設、福祉住宅等の整備
15　その他（　　）	

設問2　あなたが**教育分野**で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。　（○はいくつでも）

1　学校教育の充実	2　幼児教育の充実
3　家庭教育、地域教育の推進	4　学校施設の整備
5　児童生徒の課外活動、校外活動の充実	6　生涯学習推進体制とネットワーク化
7　学習成果の活用と社会参加活動への支援	8　学習情報の提供
9　生涯学習機会の増加	10　芸術、文化活動の振興
11　文化財の保護保全・整備と活用	12　スポーツ、レクリエーション活動の充実
13　スポーツ、レクリエーション施設の整備	14　非核平和の啓発
15　その他（　　）	

設問3　あなたが**産業分野**で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。　（○はいくつでも）

1　農業の担い手確保、育成	2　農業生産基盤の整備
3　農産品の振興	4　農村生活・就業環境の整備
5　畜産業、林業、水産業の振興	6　中小企業、経営者の支援
7　商業環境の整備	8　企業誘致の強化
9　既存企業の振興	10　イベント、民俗行事への支援
11　観光誘客の推進	12　特産品の振興
13　雇用への支援	14　雇用環境の整備
15　その他（　　）	

設問4　あなたが**都市基盤分野**で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。　（○はいくつでも）

1　主要道路網の整備促進	2　生活道路の整備
3　幹線道路の整備促進	4　駅舎、駐車場の整備・維持管理
5　生活路線バス運行の維持のための支援	6　市内循環バス等の運行
7　生活に即した地域内交通システムの確立	8　計画的な市街地整備
9　駅周辺地区の整備促進	10　各地域の特徴を活かしたまちづくり
11　安全で安定した水道水の供給	12　水道未普及地区の解消
13　下水道施設の整備	14　下水未処理地区の解消
15　その他（　　）	

設問5　あなたが**環境・安全分野**で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。　（○はいくつでも）

1　自然環境の保全	2　自然とふれる場の創出
3　森林の維持と保全	4　河川とその周辺環境の保全・整備
5　市営住宅の整備・管理	6　住宅地の整備、供給
7　公園・緑地の整備、緑化の推進	8　廃棄物の排出抑制
9　廃棄物の適正処理	10　リサイクル可能な資源の利用促進
11　交通安全、防犯体制の強化	12　消防、防災体制の充実
13　除排雪体制の充実、整備	14　消融雪施設の整備促進
15　その他（　　）	

設問6　あなたが**地域情報・交流・行政運営分野**で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。　（○はいくつでも）

1　男女共同参画社会の形成	2　市内地域間交流の促進
3　他市町村との連携、交流	4　国際交流の促進
5　自治組織づくり、自治会活動への支援	6　行政への市民参加の機会拡大
7　市内の情報網、通信網の整備	8　地域活動の情報提供
9　小規模集落、高齢化集落の維持	10　地域独自の活性化への支援
11　行政情報の提供と公開	12　市予算の財源確保
13　公共施設の見直し	14　事務組織の見直しと職員資質の向上
15　その他（　　）	

■あなたご自身のことについてお伺いします。

・あなたの性別を、次の中から１つ選び、番号を○で囲んでください。

1　男性	2　女性		

・あなたの年齢を、次の中から１つ選び、番号を○で囲んでください。

1　10代	2　20代	3　30代	4　40代
5　50代	6　60代	7　70代	8　80代以上

・あなたの居住地域を、次の中から１つ選び、番号を○で囲んでください。

1　大曲地域	2　神岡地域	3　西仙北地域	4　中仙地域
5　協和地域	6　南外地域	7　仙北地域	8　太田地域

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたらご記入願います。

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、**6月5日(金)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。